TOSHIBA
Leading Innovation

液晶ディスプレイ

取付/取扱説明書

形名
TD-X55 シリーズ
TD-X552M/TD-X552X

ユーザーメモ

形名・シリアル番号は液晶ディスプレイ本体の
背面に記載されています。
形名・シリアル番号を下記にご記入ください。
東芝の販売店にご連絡される際は、この番号をお伝え
ください。
形　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
シリアル番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

商品および取付/取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁　止	“⃠”**は、禁止（してはいけないこと）**を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指　示	“●”**は、指示する行為の強制（必ずすること）**を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注　意	“△”**は、注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する


指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しない


屋外、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 振動・衝撃のある場所に設置しない


振動禁止

振動・衝撃で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む


指　示

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する


指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意　つづき

設置するとき　つづき

■ 転倒・落下防止の処置をする



転倒・落下防止の処置をしないと、液晶ディスプレイの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒、落下防止のしかたについては、設置環境によりますので、工事専門業者にご依頼ください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する



付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない



他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 異物を入れない



通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら液晶ディスプレイ・電源コードおよび本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する



かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 高度3000mを超える場所では使用しないでください。



正常に動作しない可能性があります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する



電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。（17.5mm以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない



湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



- 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う
  ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、液晶ディスプレイを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- 液晶ディスプレイを押したり液晶ディスプレイを支えていなかったりすると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。
- 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
  液晶ディスプレイが破損してけがの原因となることがあります。

■ 車（キャスター）付きのスタンドに設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



固定しないとスタンドが動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

使用するとき　つづき

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

■ 液晶ディスプレイやスタンドにぶら下ったり、上に乗ったりしない



落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ リモコンに使用している乾電池は、



- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示(+)と(-)を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ 液晶ディスプレイの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない



ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店に相談する



本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- **本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。**
- **移転など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。**
- **本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。**
- **本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。**

商標に関する情報

- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface はHDMI Licensing の商標または登録商標です。
- DOLBY DIGITAL PLUS この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- **本機を譲渡する場合、全ての情報を初期化することをお勧めします。**
- **本機を破棄する場合、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。**

免責事項について

- **地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。**
- **本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。**
- **取付/取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。**
- **誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。**

メモ　メモは、重要度の高い情報や、特に注意が必要なことを強調して示しています。また、補足情報も記載されています。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

目次

1. 開梱と設置 1
- 1.1. 開梱 1
- 1.2. 梱包箱の内容 1
- 1.3. 設置時の注意 2
- 1.4. テーブルスタンドを取り付ける・取り外す（オプション） 2
- 1.5. 壁に取り付ける 3
  - 1.5.1. VESA グリッド 4
- 1.6. 縦向きでの取り付け 5
- 1.7. 電源の接続 5
- 1.8. 画像の焼付きおよび残像を防ぐ 5

2. 各部の名称と働き 6
- 2.1. 操作ボタン 6
- 2.2. 入力/出力端子 7
- 2.3. リモコン 8
  - 2.3.1. リモコンボタンの機能 8
  - 2.3.2. リモコンモード 9
  - 2.3.3. ID モードの設定 9
  - 2.3.4. リモコンに乾電池をセットする 10
  - 2.3.5. リモコン操作上の注意 10
  - 2.3.6. リモコンの動作範囲 10

3. 外部機器を接続する 11
- 3.1. 外部機器を接続する（DVD/VCR/VCD） 11
  - 3.1.1. コンポーネントビデオ入力を使用する 11
  - 3.1.2. ビデオソース入力を使用する 11
  - 3.1.3. HDMI ビデオ入力を使用する 12
- 3.2. PC を接続する 12
  - 3.2.1. VGA 入力を使用する 12
  - 3.2.2. DVI 入力を使用する 12
  - 3.2.3. HDMI 入力を使用する 13
  - 3.2.4. DisplayPort 入力を使用する 13
- 3.3. オーディオ機器を接続する 13
  - 3.3.1. 外部スピーカーを接続する 13
  - 3.3.2. 外部オーディオ機器を接続する 14
- 3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する 14
  - 3.4.1. ディスプレイコントロールの接続 14
  - 3.4.2. デジタルビデオ接続 15
  - 3.4.3. アナログビデオ接続 15
- 3.5. IR 接続 16
- 3.6. IR パススルー接続 16
- 3.7. ネットワークへの有線接続 17

4. 操作 18
- 4.1. 接続されているビデオソースを見る 18
- 4.2. 画像形式を変更する 18
- 4.3. お好みの画像設定を選択する 18
- 4.4. お好みの音声設定を選択する 18
- 4.5. 音声出力端子の音量を調整する 18
- 4.6. 画像の位置を微調整する 18
- 4.7. ローカルエリアネットワーク経由でマルチメディアファイルを再生する 19
  - 4.7.1. ネットワークを設定する 19
  - 4.7.2. DLNA-DMP の使用方法 19
  - 4.7.3. PC から DLNA-DMR を使用する方法 20
- 4.8. USB デバイスのマルチメディアファイルを再生する 20
- 4.9. 再生操作 21
  - 4.9.1. 音楽ファイルを再生する 21
  - 4.9.2. ムービーファイルを再生する 22
  - 4.9.3. 写真ファイルを再生する 22
  - 4.9.4. フォルダを操作する 23

5. 設定を変更する 23
- 5.1. 設定 24
  - 5.1.1. 画像設定 24
  - 5.1.2. 音声設定 25
  - 5.1.3. タイル 25
  - 5.1.4. 一般設定 26
- 5.2. ネットワーク設定 29

6. USB デバイスの互換性 30

7. 入力モード 33

8. 清掃とトラブルシューティング 34
- 8.1. 清掃 34
- 8.2. トラブルシューティング 35

9. 技術仕様 36

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

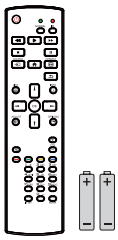
- 本機は、標準の付属品とともに梱包されています。
- オプションの付属品は、別梱包されています。
- 開梱後は、中身がすべてそろっており損傷していないことを確認してください。

1.2. 梱包箱の内容

- LCD ディスプレイ
- リモコンと単四電池(2個)
- 電源コード(1.8 m)
- VGA (D-SUB) ケーブル(1.8 m)
- IR 延長レシーバー
- RS-232Cミニプラグ変換ケーブル
- RS-232Cデイジーチェーンケーブル
- 取付/取扱説明書



LCDディスプレイ



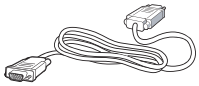
リモコンと単四電池(2個)



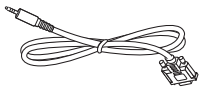
電源コード



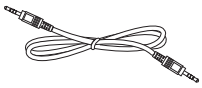
IR 延長レシーバー



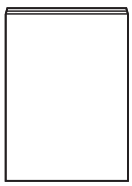
VGA (D-SUB) ケーブル



RS-232Cミニプラグ変換ケーブル



RS-232Cデイジーチェーンケーブル



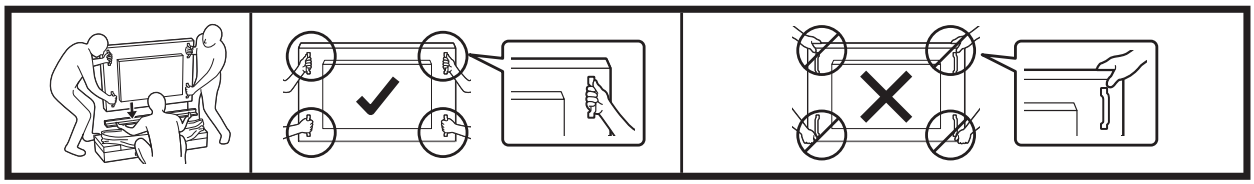
取付/取扱説明書

メモ

- 付属の電源コード以外のものは、本機に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外に使用しないでください。
- 本機を発送する時のため梱包箱と梱包材は保管しておくことをお勧めします。

1.3. 設置時の注意

- 電力消費量が大きいため、必ず本機専用のコンセントを使用してください。延長ケーブルを使用する場合は、サービス代理店にお問い合わせください。
- 倒れないように、平らな場所に設置してください。本機背面と壁の間の距離は、17.5mm以上で、かつ適切な換気が行われる程度に開けてください。台所や浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。電子部品の寿命が短くなります。
- 本機を移動したり持ち上げたりするときは、2人以上で作業してください。
- 必ず、本機の背面にある取っ手を持ってください。ディスプレイの画面や外枠（フレーム）を持たないでください。

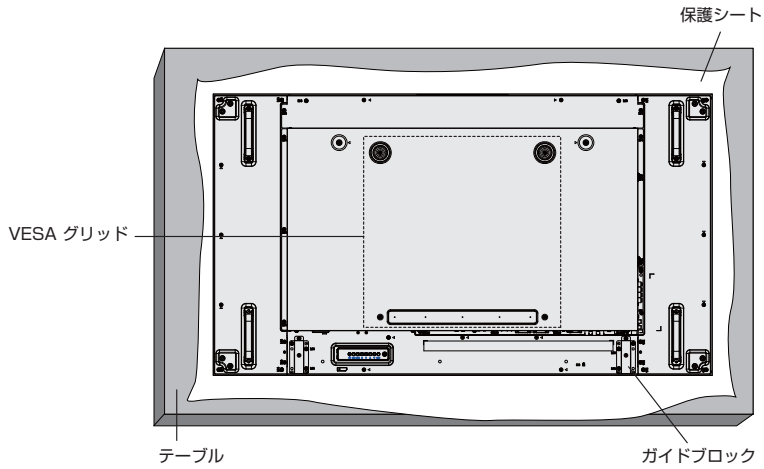


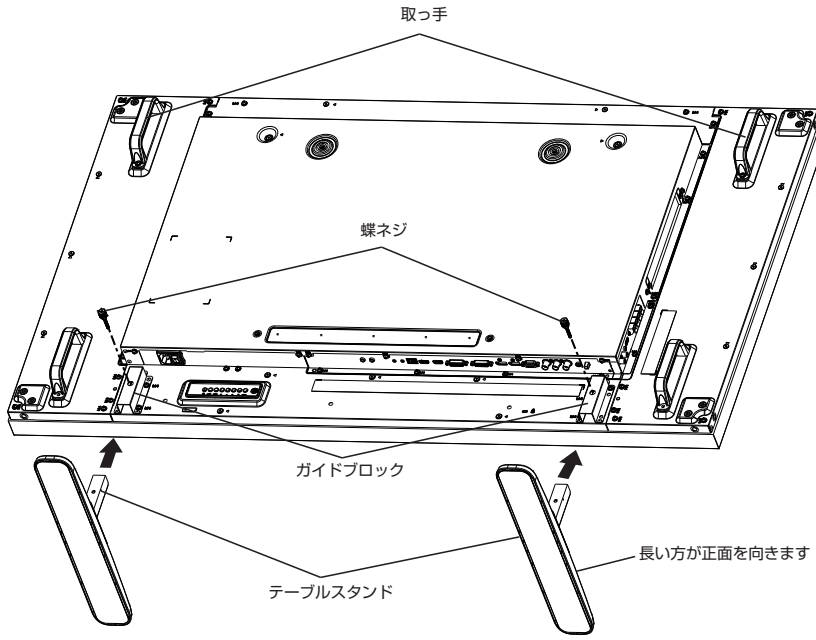
- 本機を一時的にテーブルに置く場合、必ずクッションを置いて水平に置いてください。本機の片側をテーブルにのせたままで、片側を10°以上持ち上げないでください。

1.4. テーブルスタンドを取り付ける・取り外す（オプション）

テーブルスタンドを取り付ける

1. 本機の電源が切れていることを確認します。
2. 出荷時に本機を包んでいた保護シートを、平らなテーブル上に広げます。
3. 本機の取っ手を持ち、本機表面を下にして保護シートの上に置きます。
4. ガイドブロックにスタンドを挿入し、本機の両側のネジを締めます。





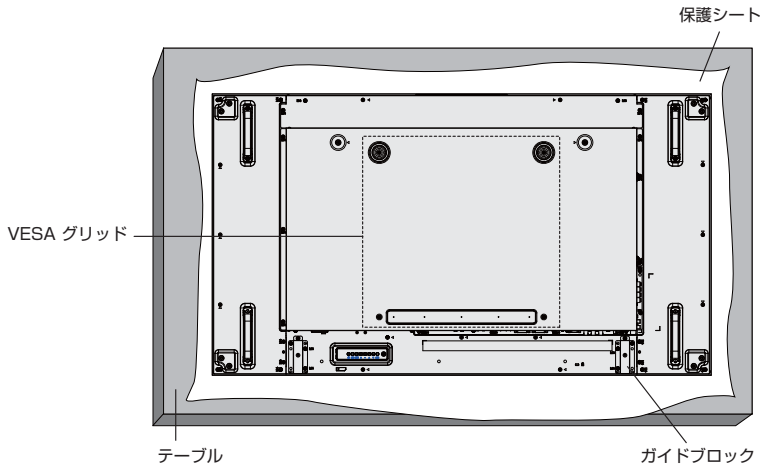
メモ ・スタンドの長い方が、本機正面の方を向くように挿入してください。

テーブルスタンドを取り外す

1. 本機の電源を切ります。
2. 保護シートを平らな場所に広げます。
3. 本機の取っ手を持ち、本機表面を下にして保護シートの上に置きます。
4. ネジを緩めてテーブルスタンドを取り外し、安全な場所に保管します。

1.5. 壁に取り付ける

本機を壁に取り付ける場合は、標準の壁掛けキット（市販）を用意してください。取り付け部品はTUV-GSおよびUL1678北米規格に準拠したものを使用してください。



1. 出荷時に本機を包んでいた保護シートをテーブルに敷き、表面に傷がつかないように本機を置きます。
2. 本機の取り付け（壁掛け、天井取り付け、テーブルスタンド等）に必要なすべての付属品がそろっていることを確認します。
3. 壁掛けキットに付属している手順書に従ってください。正しい取り付け手順に従わないと、機器が損傷したり、使用者や設置者が怪我をする恐れがあります。不適切な設置が原因の損害は、製品保証書の対象外です。
4. 壁掛けキットの場合、M6 取り付けネジ（取付金具の厚みよりも 10 mm 長いネジ（ネジ頭部を除いた長さ））を使用し、しっかりと締めてください。
5. 壁掛けキットを除くユニット重量は 29.2 kg です。機器と機器の取り付け手段は、試験により安全が確認されています。最小重量/荷重が 87.6 kg のVESA 基準に準拠した取付金具のみを使用してください。
6. ビデオウォール（複数面）設置する場合、外枠（フレーム）間が接触しないように設置してください。
7. DC ファンの通風孔を塞ぐことがないように、ディスプレイの背面と壁の間を17.5mm 以上あけて設置してください。

1.5.1. VESA グリッド

TD-X552M/TD-X552X	400（横）×400（縦）mm

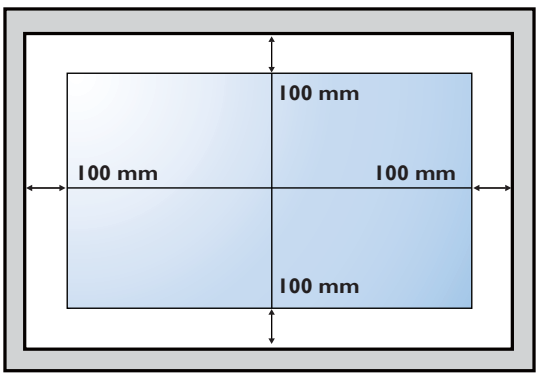
⚠注意 本機の落下を防止するために:

- 壁または天井に取り付ける場合は、市販の金属製ブラケットを使用して取り付けることをお勧めします。詳しい取り付け手順については、ブラケットに付属の説明書をご覧ください。
- 地震や災害などでの本機の落下による怪我や損傷の可能性を最小限にするため、取り付け位置についてはブラケットメーカーにお問い合わせください。

筐体内に設置する際の換気要件

筐体内に熱がこもらないように、図のとおり本機と筐体との間を開けてください。

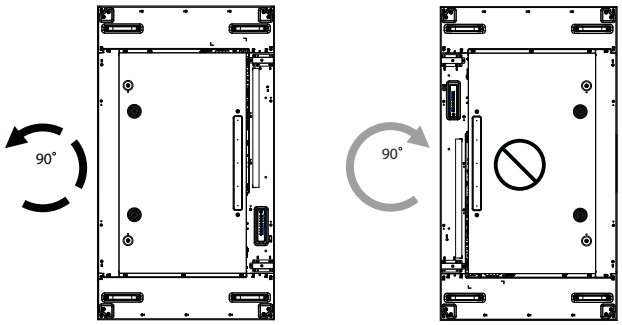
《例》2×2 台構成（ディスプレイ4台）の場合



1.6. 縦向きでの取り付け

本機は、縦向きに取り付けることができます。

1. テーブルスタンドが取り付けられている場合は、取り外してください。
2. 背面から見て、反時計回りに 90 度回転します。背面を見ると、操作ボタンの位置が右下になります。



1.7. 電源の接続

- 接続の前に本体の主電源が「切」になっていることを確認してください。
- できるだけ本機に近い電源コンセントを使い、すぐに手が届くようにしてください。
- 必ず接地接続を行ってください。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
- また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

1.8. 画像の焼付きおよび残像を防ぐ

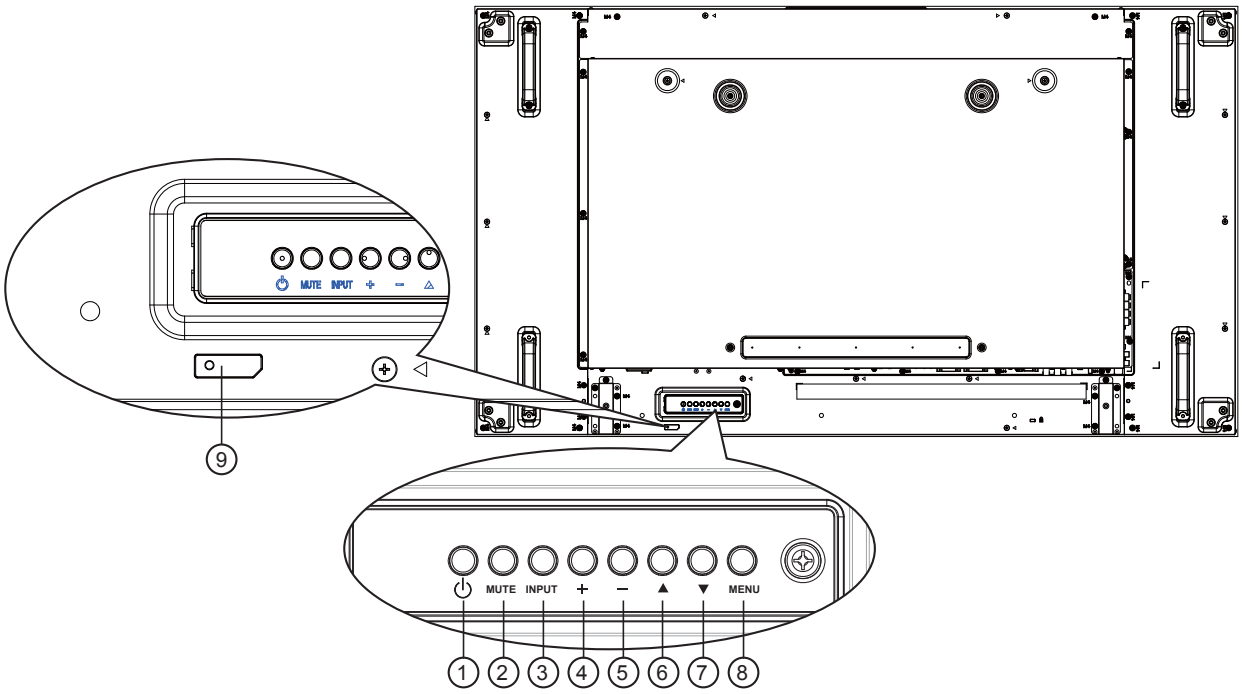
⚠注意 静止画を長時間表示しないでください。長時間表示すると画像の「焼付き」が起きたり、画像の「残像」が残ることがあります。これは、保証対象外となります。

静止画のみを長時間映さないでください。

- できる限り動画を表示してください。
- 使用しない時は本機の電源を切るか、スケジューリング（「一般設定」 26 ページ参照）を使って、1 日であらかじめ決めた時間に自動的に電源が切れるようにしてください。
  ピクセルシフト機能ををオンにしてください。画像の残像が残らないようにするために、ピクセルシフト（「一般設定」 28 ページ参照）をオンに設定してください。

2. 各部の名称と働き

2.1. 操作ボタン



① **[⏻] ボタン**

本機の電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

② **[MUTE] ボタン**

音声のミュート ON/OFF を切り替えます。

③ **[INPUT] ボタン**

入力ソースを選択します。

- オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの [OK] ボタンと同様に使用します。

④ **[+] ボタン**

OSD メニューで調節する値を増やします。OSD メニューでないときは音声出力レベルを上げます。

⑤ **[–] ボタン**

OSD メニューで調節する値を減らします。OSD メニューでないときは音声出力レベルを下げます。

⑥ **[▲] ボタン**

OSD メニューで、現在選択されている項目の 1 つ上の項目を選択します。

⑦ **[▼] ボタン**

OSD メニューで、現在選択されている項目の 1 つ下の項目を選択します。

⑧ **[MENU] ボタン**

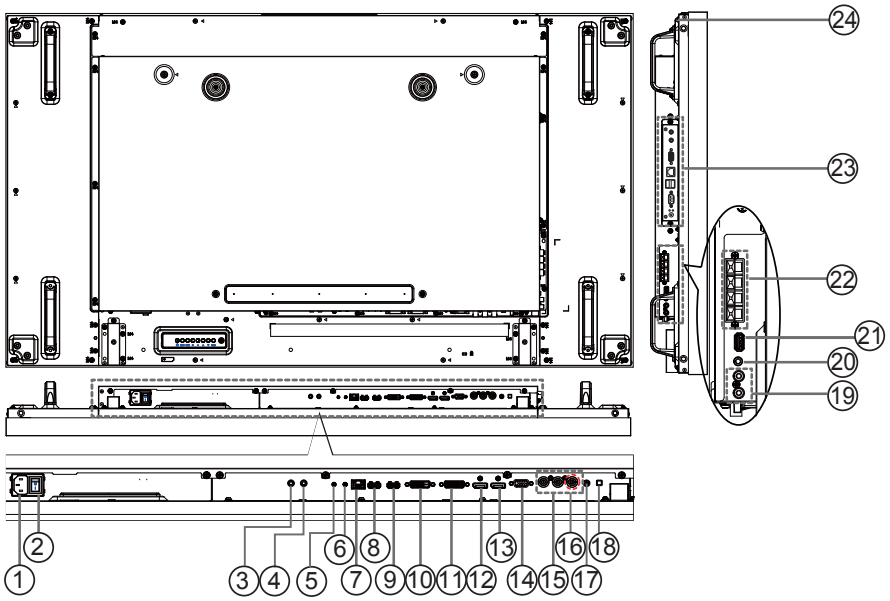
OSD メニューを表示しているときは、前のメニューに戻ります。

OSD メニュー非表示のときは、[MENU] ボタンを押すと 、OSD メニューを表示します。

⑨ **リモコンセンサー兼電源状態インジケーター**

- リモコンからのコマンド信号を受信します。
  OPS が取り付けられていない場合、次のように本機の動作状態を表示します。
  - 緑に点灯: 本機の電源が入っている
  - 赤に点灯; 本機がスタンバイモードになっている
  - 緑と赤が交互に点灯: 故障が検出されている
  - 消灯: 本機の主電源が切れている

2.2. 入力/出力端子



① AC 入力

コンセントからの AC 電源入力端子。

② 主電源スイッチ

主電源のオン/オフを切り替えます。

③ IR 入力/④ IR 出力

ループスルー機能用の IR 信号の入力/出力端子。

メモ
- 本機のリモコンセンサーは、[**IR 入力**] ジャックに接続されている場合は動作しません。
- 本機を経由して A/V 機器をリモート制御したい場合は、16 ページの「**IR パススルー接続**」を参照してください。

⑤ RS-232C 入力/⑥ RS-232C 出力

ループスルー機能用の RS-232C ネットワークの入力/出力端子。

⑦ RJ-45

コントロールセンターからのリモコン信号を使用するための LAN 制御用端子。

⑧ HDMI1 入力/⑨ HDMI2 入力

HDMI ビデオ/音声入力。

⑩ DVI-D入力

DVI-D ビデオ入力。

⑪ DVI-I (DVI-D/VGA)出力

DVI または VGA ビデオ出力。

⑫ DisplayPort 入力/⑬ DisplayPort 出力

DisplayPort ビデオ入力/出力。

⑭ VGA 入力(D-Sub)

VGA ビデオ入力。

⑮ コンポーネント入力(BNC)

コンポーネント YPbPr ビデオソース入力。

⑯ Y/CVBS

ビデオソース入力。

⑰ PC ライン入力

VGA ソース用音声入力(3.5mm ステレオフォン)。

⑱ スピーカースイッチ

内部スピーカーのオン/オフを切り替えます。

⑲ 音声入力

外部 AV 機器からの音声入力(RCA)。

⑳ 音声出力

外部 AV 機器への音声出力(φ3.5mm)。

㉑ USB ポート

USB ストレージデバイスを接続します。

㉒ スピーカー出力

外部スピーカーへの音声出力。

㉓ OPS スロット

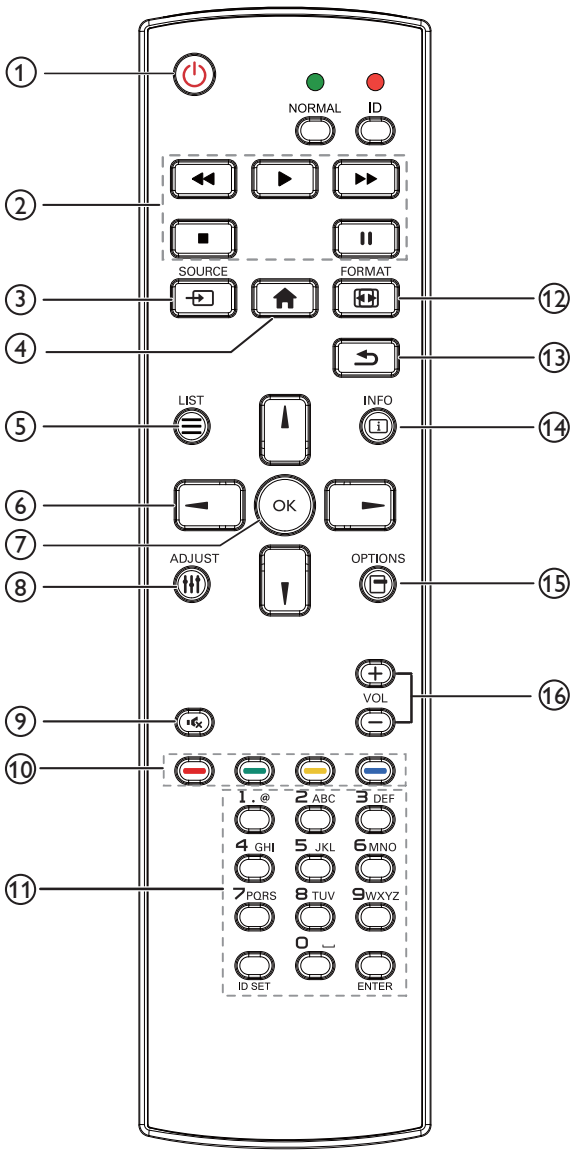
オプションの OPS モジュール取り付け用スロット。

㉔ ケンジントンロック

セキュリティおよび盗難防止に使用します。

2.3. リモコン

2.3.1. リモコンボタンの機能



① **[⏻] 電源ボタン**
本機の電源を入れたり、スタンバイにします。

② **再生操作ボタン**
メディアファイルの再生操作をします。

③ **[⏎] SOURCE ボタン**
入力ソースを選択します。[◄] または [►] ボタンを押して、**USB**、**ネットワーク**、**HDMI 1**、**HDMI 2**、**DisplayPort**、**Card OPS**、**DVI-D**、**YPbPr**、**AV**、**VGA** を切り替えます。**[OK]** ボタンを押して設定を確定し、終了します。

④ **[⌂] ホームボタン**
OSD メニューを表示します。

⑤ **[☰] LISTボタン**
本機では動作しません。

⑥ **[▲] [▼] [◄] [►] ナビゲーションボタン**
メニュー間を移動し、項目を選択します。

⑦ **[OK] ボタン**
入力または選択内容を確認します。

⑧ **[⫶] ADJUST ボタン**
現在使用できるオプション、画像、音声メニューを表示します。

⑨ **[🔇] ミュートボタン**
ミュート機能をオン/オフにできます。

⑩ **[▬]**(赤)**[▬]**(緑)**[▬]**(黄)**[▬]**(青)**カラーボタン**
タスクやオプションを選択します。

⑪ **[数字] ボタン**
ネットワーク設定時にテキストを入力します。

⑫ **[⛶] FORMAT ボタン**
画像形式を変更します。

⑬ **[↩] 戻るボタン**
メニューの前のページに戻ります。または前の機能を終了します。

⑭ **[ⓘ] INFO ボタン**
現在行っている操作についての情報を表示します。

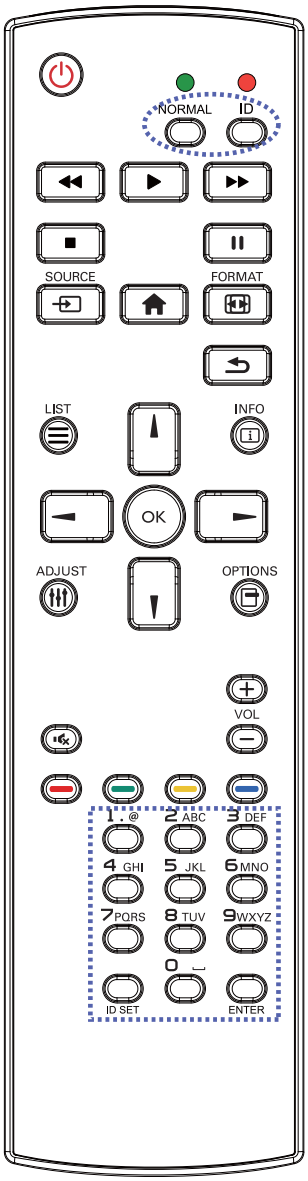
⑮ **[⎘] OPTIONS ボタン**
現在使用できるオプション、画像、音声メニューを表示します。

⑯ **[−] [+] 音量ボタン**
音量を調整します。

2.3.2. リモコンモード

リモコンには、**NORMALモード**と**IDモード**があります。

1. **NORMALモード**のときは、各ボタンを押したときリモコン上部にある緑色のLEDが点灯します。
   モニターIDに関係なく本機を操作することが出来ます。
2. **IDモード**のときは、各ボタンを押したときリモコン上部にある赤色のLEDが点灯します。
   モニターIDとリモコンIDを同じにすることで、複数のディスプレイを個々に操作することが出来ます。



2.3.3. IDモードの設定

ディスプレイ毎にリモコンIDを設定して使う場合、リモコンIDを設定します。

1. **IDボタン**を押すと、LED表示（赤）が2回点滅します。
2. 1秒以上**ID SETボタン**を押し続け、**IDモード**に入ると、LEDランプ（赤）が点灯します。
3. **[0]** ～ **[9]**ボタンを押して、操作するディスプレイ画面を選びます。

   《例》ディスプレイ画面No.1を選ぶ場合は、[0]ボタン、次に[1]ボタンを押します。ディスプレイ画面No.11を選ぶ場合は、[1]ボタン、次に[1]ボタンを押します。
   番号は[01]から[255]まであります。
4. **[ENTER]**ボタンを押して、確定します。LEDランプ（赤）が2回点滅して、消えます。

メモ

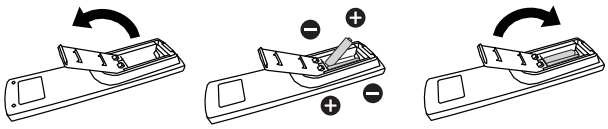
- **[NORMAL]ボタン**を押すと、LEDランプ（緑）が2回点滅し、NORMALモードになります。
- **IDモード**で使用する場合、本機のモニターIDをそれぞれ設定します。
  モニターIDの設定については、26ページを参照してください。
- 上記2にて、もう一度**ID SETボタン**を押すと**IDモード**から抜けLEDランプ（赤）が消えます。
- 上記3にて、ボタンを10秒間押さないと、自動的に**IDモード**から抜けます。
- 上記3にて、数字ボタン以外を押してしまうとLEDランプ（赤）が消えます。
  1秒待つと、また点灯しますので、正しい数字ボタンを押してください。

2.3.4. リモコンに乾電池をセットする

リモコンは1.5V 単四電池を 2 本使用します。

乾電池をセットまたは交換する

1. カバーを押してスライドし、開けます。
2. 極性表示の(+)と(−)の通り乾電池を入れます。
3. カバーを元通りに取り付けます。



⚠注意 電池は正しく使用してください。誤った使い方をすると、漏れや破裂の原因になります。次の指示を守ってください。

- 極性表示の(+)と(−)の通りセットしてください。
- 違う種類の乾電池を一緒に使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、漏れが発生することがあります。
- 使い終わった乾電池は、乾電池の電解液が漏れてリモコンが損傷しないよう、ただちに取り外してください。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池から漏れ出た電解液には触れないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。

2.3.5. リモコン操作上の注意

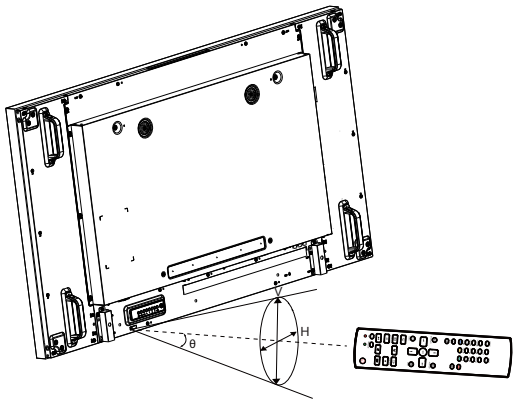
- 強い衝撃を与えないでください。
- リモコンに水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちに拭き取ってください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

2.3.6. リモコンの動作範囲

リモコンの先端を本機のリモコンセンサー(裏側)に向け、ボタンを押します。

リモコンは次の表に記載の範囲内で使用してください。

動作角度	リモコン動作距離
θ= 0°(横および縦)	≥ 8m
θ= 20°(横および縦)	≥ 5m
θ= 45°(横のみ)	≥ 2m

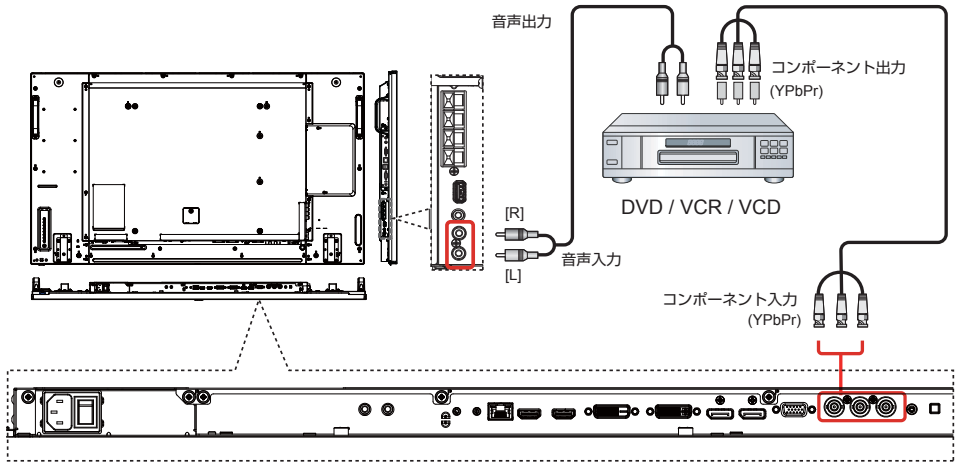


メモ ・本機のリモコンセンサーに直射日光や強い照明が当たっている場合や、信号の送信経路に障害物がある場合はリモコンが正しく動作しないことがあります。

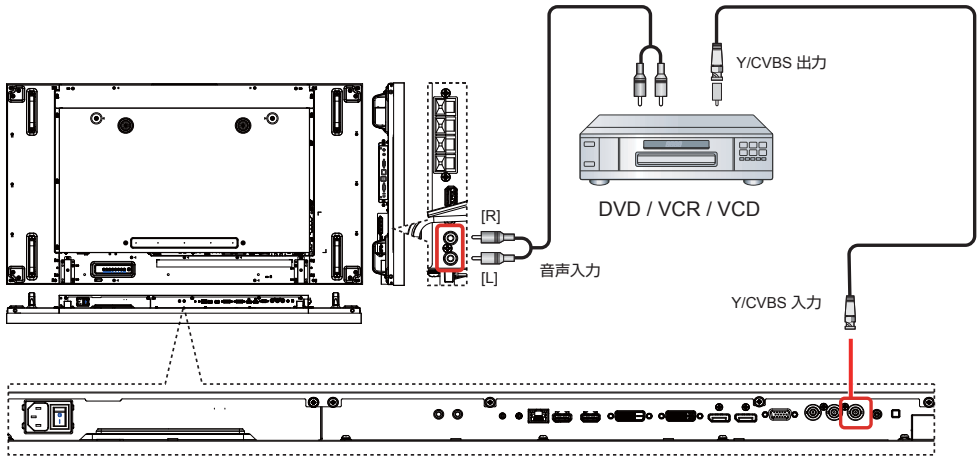
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器を接続する(DVD/VCR/VCD)

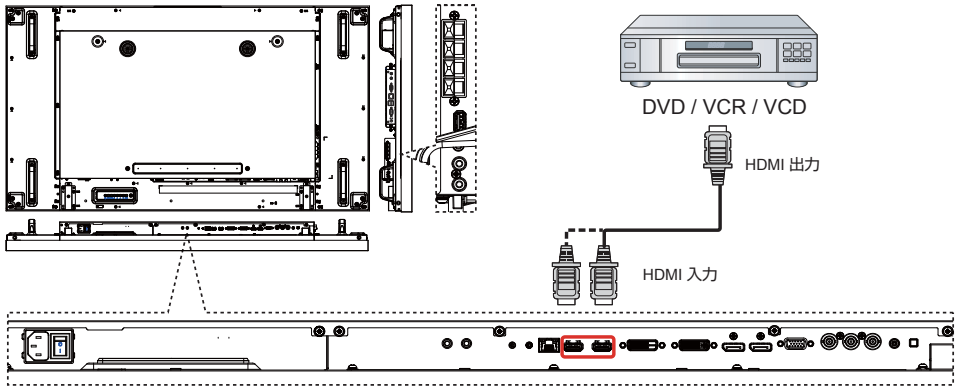
3.1.1. コンポーネントビデオ入力を使用する



3.1.2. ビデオソース入力を使用する

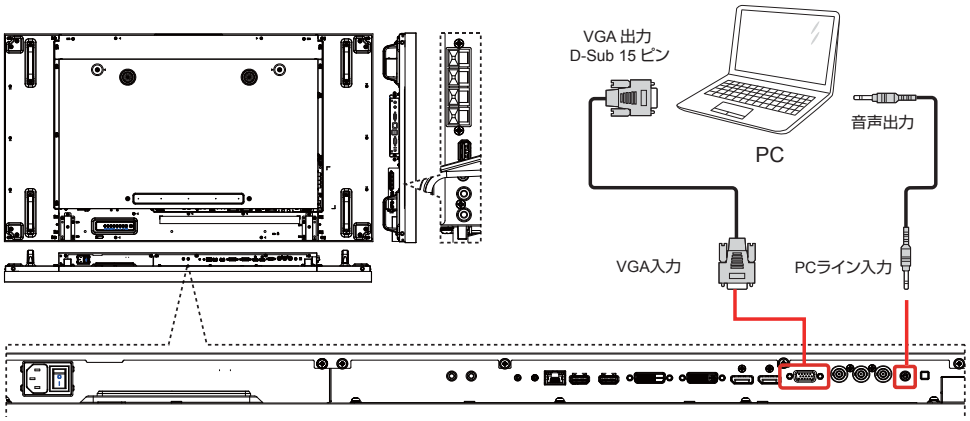


3.1.3. HDMI ビデオ入力を使用する

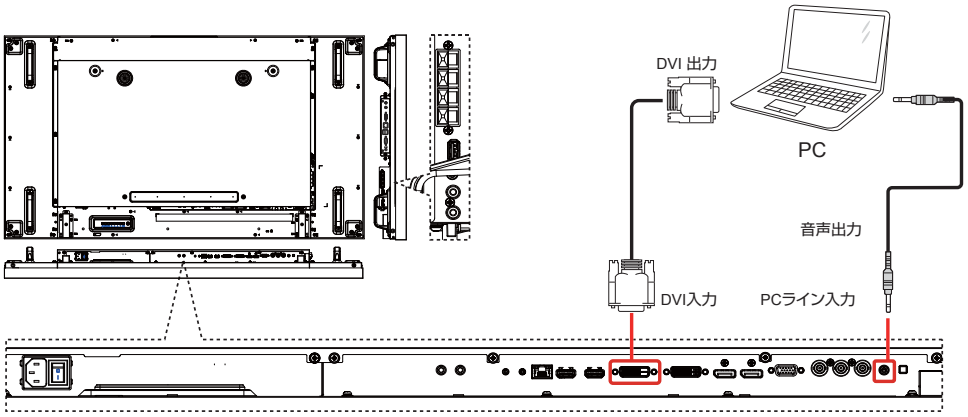


3.2. PC を接続する

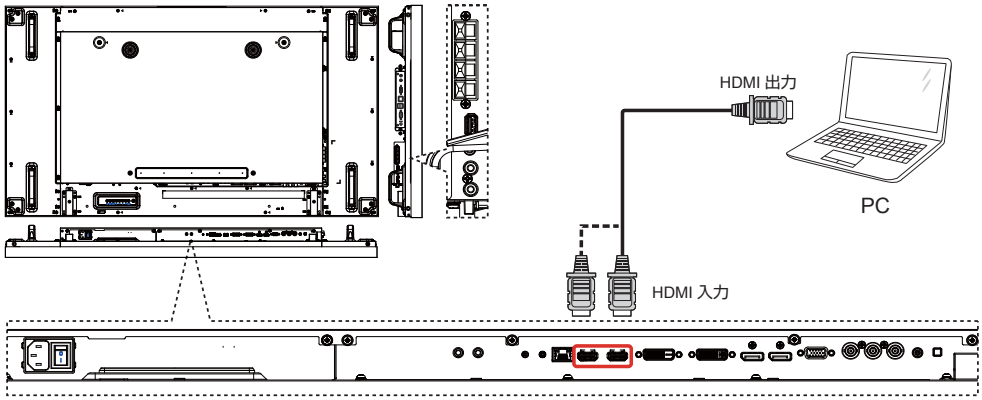
3.2.1. VGA 入力を使用する



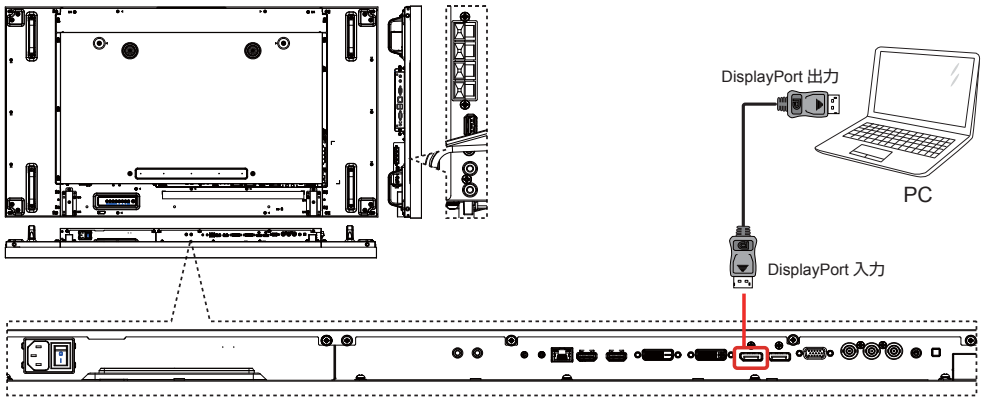
3.2.2. DVI 入力を使用する



3.2.3. HDMI 入力を使用する

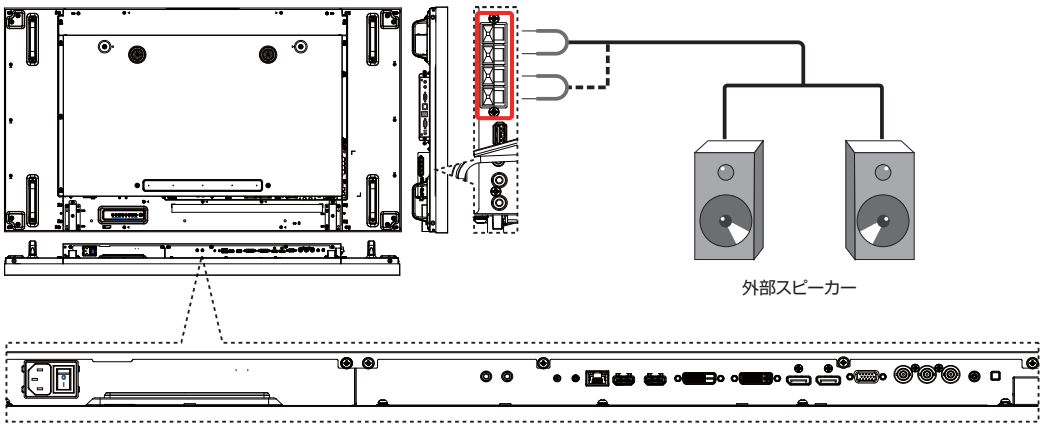


3.2.4. DisplayPort 入力を使用する

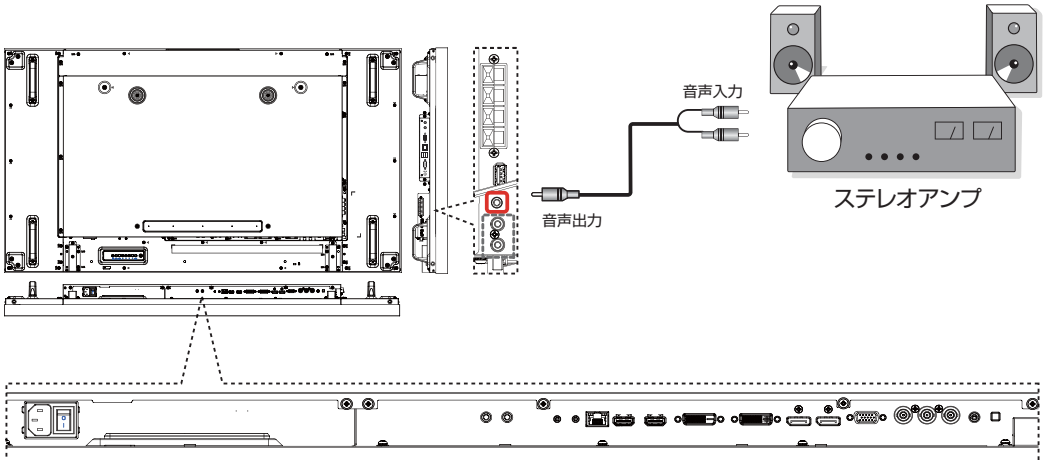


3.3. オーディオ機器を接続する

3.3.1. 外部スピーカーを接続する



3.3.2. 外部オーディオ機器を接続する



3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

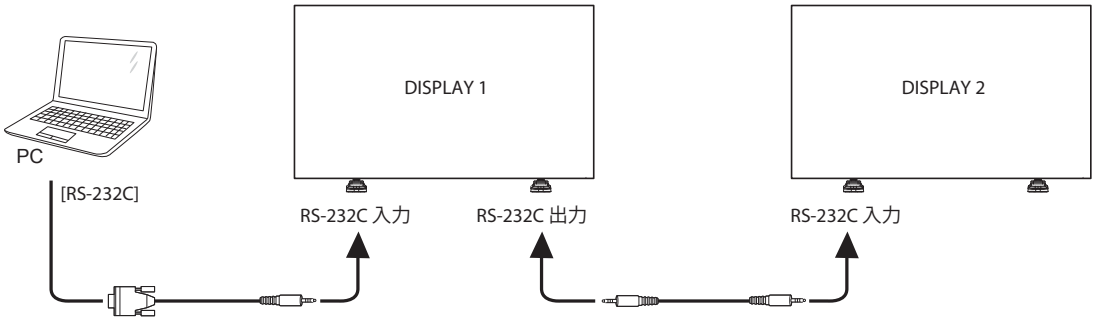
ビデオウォールなどの用途向けに複数のディスプレイを互いに接続し、デイジーチェーン構成にできます。

ビデオウォールの最大可能台数は、次のようにビデオ信号の種類によって異なります。

- 単一のデジタル信号をDVI及びDisplay Portコネクタ(パススルー)で使用した場合の最大ビデオウォール構成:9台(推奨値)
- 単一のアナログ信号をVGA コネクタ(パススルー)で使用した場合の最大ビデオウォール構成:4台(推奨値)
- 複数信号を外部分配器または分配増幅器で使用した場合の最大ビデオウォール数:100 台

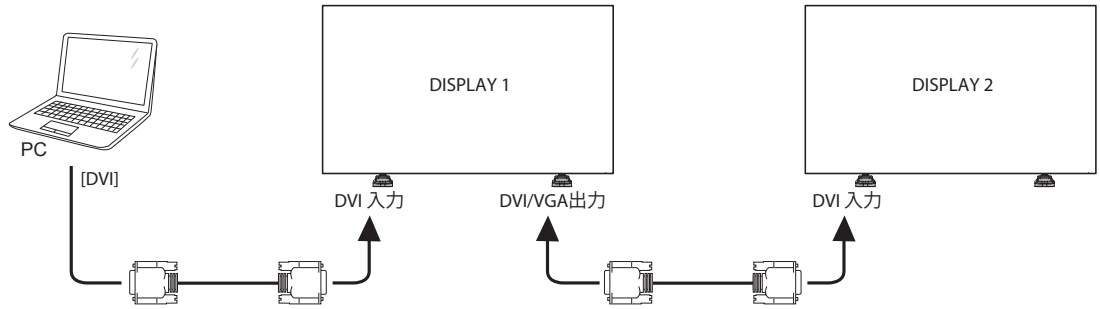
3.4.1. ディスプレイコントロールの接続

DISPLAY 1 のRS-232C 出力端子を DISPLAY 2 の RS-232C 入力端子に接続します。

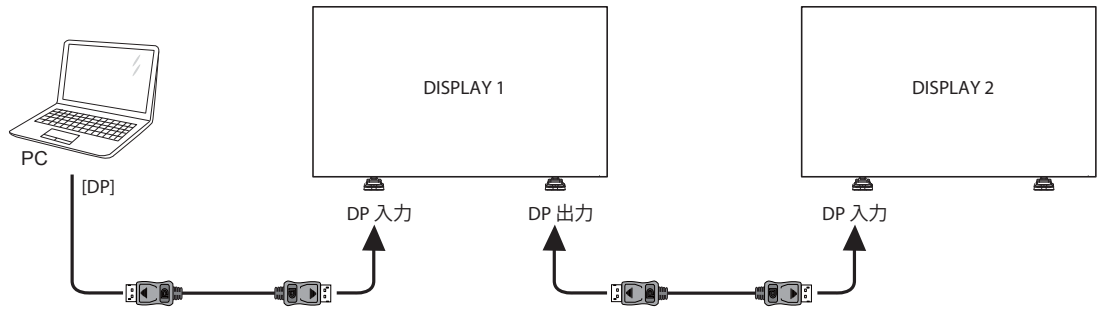


3.4.2. デジタルビデオ接続

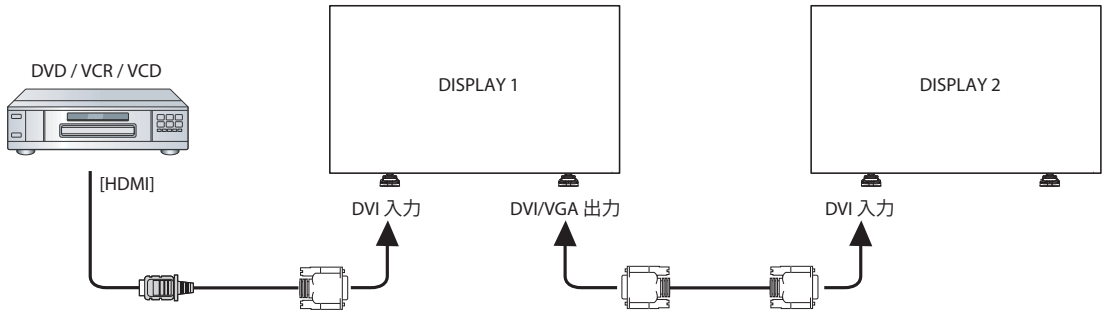
DISPLAY 1 のDVI-I(DVI-D/VGA)出力端子を DISPLAY 2 の DVI-D入力端子に接続します。



DISPLAY 1 の Display Port 出力端子を DISPLAY 2 の Display Port 入力端子に接続します。

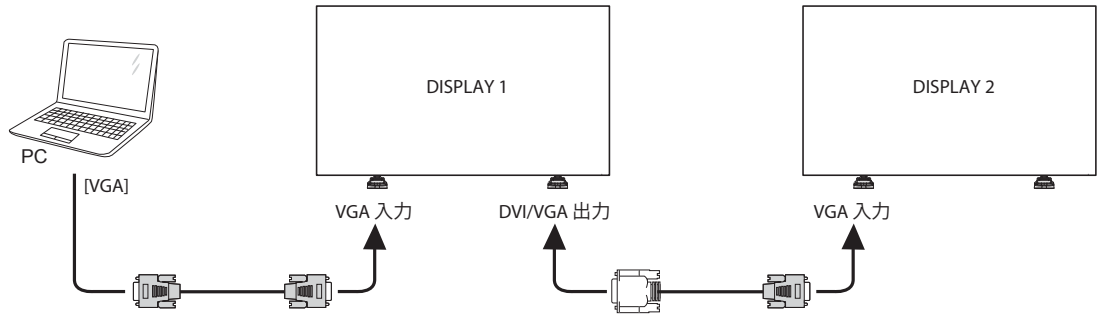


DISPLAY 1 の DVI-I(DVI-D/VGA)出力端子を DISPLAY 2 の DVI-D 入力端子に接続します。

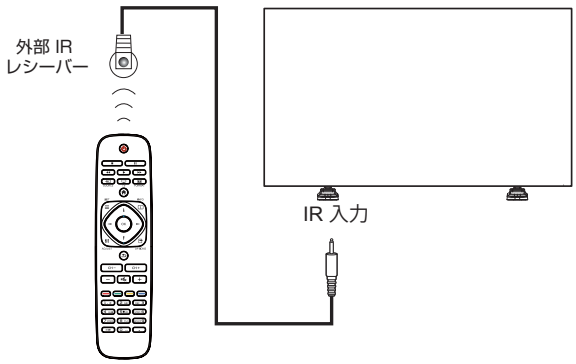


3.4.3. アナログビデオ接続

DISPLAY 1 のDVI-I(DVI-D/VGA)出力端子を DISPLAY 2 の VGA 入力端子に接続します。

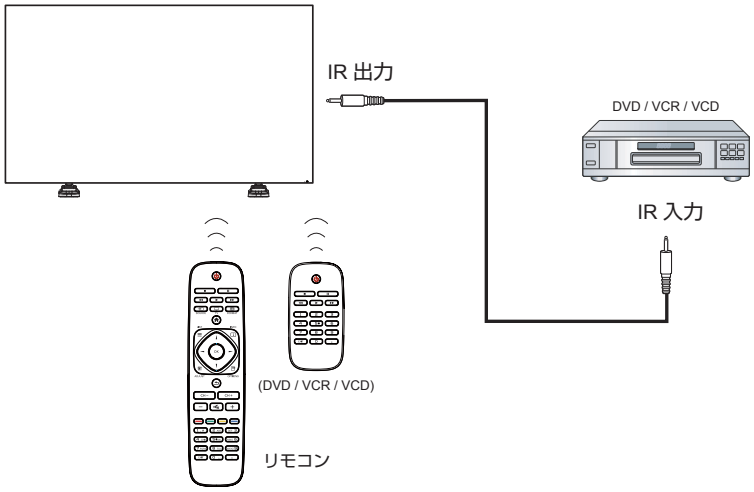


3.5. IR 接続



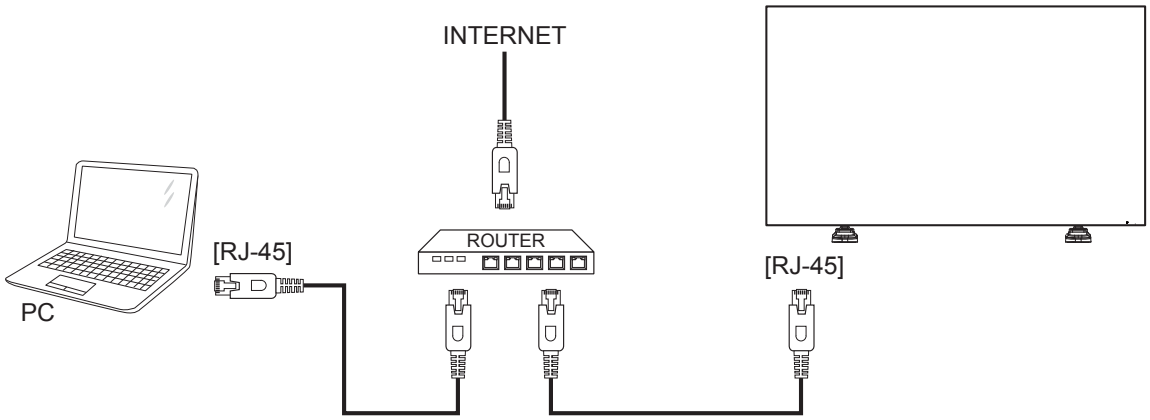
メモ ・本機のリモコンセンサーは、[**IR 入力**] に接続されている場合は動作しません。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ネットワークへの有線接続

本機をホームネットワークに接続すると、コンピュータの写真、音楽、ビデオを再生できます。詳しくは、「ローカルエリアネットワーク経由でマルチメディアファイルを再生する」（19 ページ）を参照してください。



ネットワークを設定する

1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定をオンにします。
2. イーサネットケーブルでルーターと本機を接続します。
3. **[⌂] ホーム**ボタンを押して OSD メニューを表示します。
4. ▲ または ▼ ボタンを押してメニュー項目の {**ネットワーク設定**} を選択します。OK ボタンを押してサブメニューを表示します。
5. ▲、▼、◄、► を押すか、数字ボタンを押して値を設定します。OK ボタンを押して確定します。

メモ ・EMC 指令に準拠したシールド CAT-5 イーサネットケーブルで接続してください。

4. 操作

メモ ・本項で説明するボタンは、指定がない限り、リモコンのボタンを示しています。

4.1. 接続されているビデオソースを見る

外部機器との接続については、11ページを参照してください。

1. **[⊡] SOURCE** ボタンを押します。
2. **[∧]** または **[∨]** ボタンを押して機器を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

4.2. 画像形式を変更する

ビデオソースに合わせて、**画像フォーマット**を変更できます。ビデオソースごとに、使用できる画像形式は決まっています。

使用できる画像形式は、ビデオソースによって異なります。

1. **[⊡] FORMAT** ボタンを押します。
2. **[∧]** または **[∨]** ボタンを押して**画像フォーマット**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- {**Auto zoom**}:画像を拡大して画面いっぱいに表示します。画面の歪みが最低限になるためお勧めですが、**HD** または **PC** には向きません。
- {**Movie expand 16:9**}:4:3 形式を 16:9 に拡大します。**HD** や **PC** には向きません。
- {**Wide screen**}:ワイドスクリーン形式のコンテンツを拡大せずに表示します。**HD** や **PC** には向きません。
- {**Unscaled**}:**PC** を使用する場合、最大の精度で表示されます。
- {**4:3**}:従来の 4:3 形式で表示します。

4.3. お好みの画像設定を選択する

1. 本機でビデオソースを再生している時に、**[⊡] ADJUST** ボタンを押します。
2. **[−]** または **[−]** ボタンを押して**画像スタイル**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。
3. **[∧]** または **[∨]** ボタンを押してオプションを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- {**個人**}:独自の画像設定を適用します。
- {**鮮明**}:鮮やかで生き生きした表示設定です。日中の鑑賞に適しています。
- {**自然**}:自然な表示の画面設定です。
- {**標準**}:ほとんどの環境やビデオの種類に適したデフォルトの設定です。
- {**ムービー**}:ムービーに最適な設定です。
- {**写真**}:写真の表示に最適な設定です。
- {**省エネ**}:エネルギー使用を大幅に抑える設定です。

4.4. お好みの音声設定を選択する

1. 本機でビデオソースを再生している時に、**[⊡] ADJUST** ボタンを押します。
2. **[−]** または **[−]** ボタンを押して**音声スタイル**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。
3. **[∧]** または **[∨]** ボタンを押してオプションを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- {**個人**}:独自の音声設定を適用します。
- {**オリジナル**}:ほとんどの環境や音声の種類に適したデフォルトの設定です。
- {**ムービー**}:ムービーに最適な設定です。
- {**音楽**}:音楽を聞くのに最適な設定です。
- {**ゲーム**}:ゲームに最適な設定です。
- {**ニュース**}:ニュースなどの、人が話している音声を聞くのに最適な設定です。

4.5. 音声出力端子の音量を調整する

1. 本機でビデオソースを再生している時に、**[⊡] ADJUST** ボタンを押します。
2. **[−]** または **[−]** ボタンを押して**音声出力**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。
3. **[∧]** または **[∨]** ボタンを押して**音量出力端子**の音量を調整し**[OK]** ボタンを押します。

4.6. 画像の位置を微調整する

1. 本機でビデオソースを再生している時に、**[⊡] ADJUST** ボタンを押します。
2. **[−]** または **[−]** ボタンを押して**画像シフト**を選択し、**[OK]** ボタンを押します。
3. **[∧]** または **[∨]** 、**[−]** または **[−]** ボタンを押して画像の位置を微調整し**[OK]** ボタンを押します。

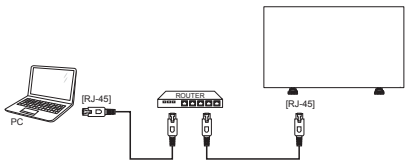
4.7. ローカルエリアネットワーク経由でマルチメディアファイルを再生する

ローカルエリアネットワーク経由でファイルを再生するには、以下のものおよび設定が必要です。

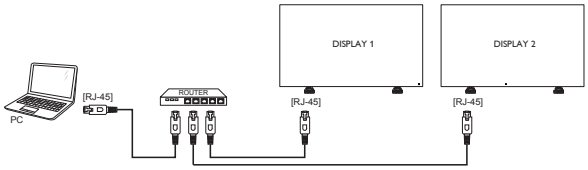
- ユニバーサルプラグアンドプレイ(uPnP)ルーターで接続された有線ホームネットワーク。
- オプション:本機とホームネットワークとを接続するLAN ケーブル。
- コンピューターで動作するメディアサーバー。
- コンピューターのファイアウォールが、メディアサーバーが動作できるよう適切に設定されていること。

4.7.1. ネットワークを設定する

1. 本機とコンピューターを、同じホームネットワークに接続します。下図のように、本機をネットワークに接続します。
2. コンピューターとルーターの電源を入れます。
   - **ディスプレイが1つの場合:**



   - **ディスプレイが複数の場合:**



メディア共有を設定する

1. コンピューターにメディアサーバーをインストールし、メディアファイルを共有します。メディアサーバーには次の種類があります。

- **PC** の場合:Windows Media Player 11 以上または TVersity
- **Mac** の場合:Twonky

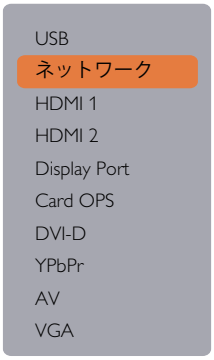
2. メディアサーバーを使って、コンピューターのメディア共有を切り替えます。メディアサーバーの設定方法については、メディアサーバーの Web サイトを参照してください。

4.7.2. DLNA-DMP の使用方法

1. 本機と PC を、RJ-45 経由で同じルーターに接続してください。
2. Windows Media Player を起動します。ストリーム処理をパブリック共有に設定します。

本機でメディアファイルを再生する

1. **[⏎] SOURCE**ボタンを押し、**ネットワーク** を選択して **[OK]** ボタンを押します。

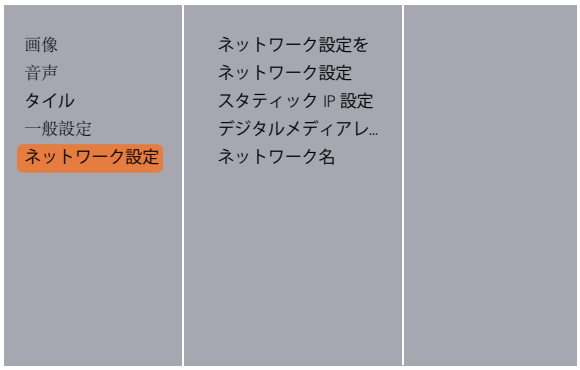


2. 同じルーターに接続されているすべての PC が画面上に表示されます。再生する PC を選択します。
3. **[↑]** と **[←]** を押して、再生するディレクトリとファイルを選択します。
4. 1 つの PC に最大 4 台のディスプレイを接続して、同じメディアストリーミングを再生することができます。

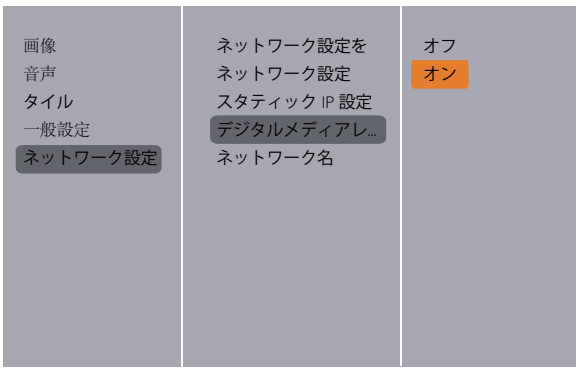
DLNA-DMP 機能は、より高いセキュリティと十分なネットワーク帯域幅を得られる有線接続で使用することをお勧めします。

4.7.3. PC から DLNA-DMR を使用する方法

1. [🏠] ホームボタンを押して、**ネットワーク設定**を選択し、[OK] を押します。



2. **デジタルメディアレンダラーDMR** を**オン**に設定します。



3. **ネットワーク名**を設定します。



4. [⏏] **SOURCE** ボタンを押し、**ネットワーク** を選択して **[OK]** ボタンを押します。
5. PCで、コントロールパネルを開き、**ホームグループ**を選択する。
6. メディアの形式をチェックします。**「TV,ゲーム、コンソールなど、このネットワーク上すべてのデバイスで自分の共有コンテンツを再生できるようにします」**の部分をクリックします。
7. **共有の詳細設定**を開き、**ネットワーク探索を有効にする**をチェックします。
8. メディアファイルのあるディレクトリに移動します。メディアファイルを右クリックして**「Play To」**を選択します。サブメニューのリモート再生に、ネットワークに接続されているすべてのディスプレイが表示されます。**ディスプレイ**を選択して、**再生するメディアファイル**をクリックします。

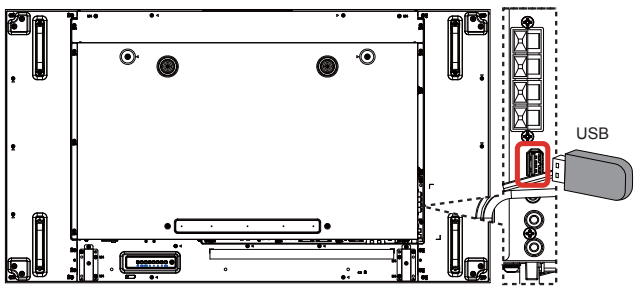
ファイルを再生する

1. **[⏏] [SOURCE]** ボタンを押します。
2. **ネットワーク**を選択し、[OK] ボタンを押します。
3. コンテンツブラウザーからファイルを選択し、**[OK]** ボタンを押して再生を開始します。
4. リモコンの **[再生] ボタン**を押して再生の操作をします。

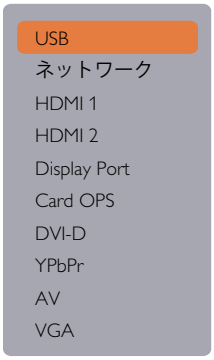
メモ
- デバイス名およびファイル名に日本語は使えません。

4.8. USB デバイスのマルチメディアファイルを再生する

1. USB デバイスをディスプレイの USB ポートに接続します。



2. **[SOURCE]** ボタンを押し、**USB** を選択して **[OK]** ボタンを押します。



3. 接続した USB デバイス内の再生可能なファイルをすべて自動的に検出し、**音楽**、**ムービー**、**写真**の 3 種類の形式別に自動的に並べ替えます。
4. **[戻る]** ボタンを押して、画面の一番上の階層まで戻ります。**[▬]** または **[▬]** ボタンを押して、ファイルの種類を選択します。**[OK]** ボタンを押して再生リストを表示します。
5. 再生するファイルを選択します。**[OK]** ボタンを押すと、再生が始まります。
6. 画面の指示に従って再生操作を行います。
7. **再生操作**ボタン(■ ❚❚ ◀◀ ▶ ▶▶)を押して再生を操作します。

メモ
- USBデバイス名およびファイル名に日本語は使えません。

4.9. 再生操作

4.9.1. 音楽ファイルを再生する

1. 上部バーの **Music**を選択します。



2. 音楽トラックを 1 つ選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- フォルダにあるすべてのトラックを再生するには、音楽ファイルを 1 つ選択します。**[▬]**（赤）を押すと、**すべて再生**されます。
- 次のトラックまたは前のトラックに移るには、**[▮]** または **[▮]** ボタンを押します。
- トラックの再生を一時停止するには、**[OK]** ボタンを押します。もう 1 度 **[OK]** ボタンを押すと再生が始まります。
- 前または後ろに 10 秒スキップするには、**[▬]** または **[▬]** ボタンを押します。
- 巻き戻しまたは早送りするには、**[◀◀]** または **[▶▶]** ボタンを押します。繰り返し押すと、異なる速度で巻き戻しや早送りできます。
- 音楽を停止するには、**[■]** ボタンを押します。
- [▬](緑)を押すと、Album、Artist、Genre、Trackごとに音楽ファイルを並べ替えることができます。

音楽の操作

■音楽のアイコンを選択中に、**[OPTIONS]** ボタンを押してから **[OK]** ボタンを押すと、次の操作ができます。

- {**Shuffle**}:トラックのランダム再生を有効または無効にします。
- {**Repeat**}:{**Play Once**} を選択すると、トラックを 1 度だけ再生できます。{**Repeat**} を選択すると、トラックまたはアルバムを繰り返し再生できます。

■音楽の再生中に、**[OPTIONS]**ボタンを押すと上部バーが表示されます。

- {**Options**}:Optionについては、上記の説明を参照してください。
- {**Picture and sound**}:**音声スタイル**、**音声出力**の設定が出来ます。これらについては、18ページの説明を参照してください。
- {**Eco settings**}:{**画面オフ**}を選択すると、画像が消灯されます。
- {**Clock**}:{**スリープタイマー**}を設定すると、指定した時間が経過した後、本機の電源を切ります。

メモ
- 曲に関する情報(タイトル、アーティスト、時間など)を表示するには、曲を選択して **[INFO]** ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう 1 度 **[INFO]** ボタンを押します。

4.9.2. ムービーファイルを再生する

1. 上部バーの**Movie**を選択します。



2. ビデオを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- フォルダにあるすべてのビデオを再生するには、ビデオファイルを 1 つ選択します。**[▬]**(赤)を押すと、**すべて再生**されます。
- ビデオの再生を一時停止するには、**[OK]** ボタンを押します。もう 1 度 **[OK]** ボタンを押すと再生が始まります。
- 前または後ろに 10 秒スキップするには、**[⊢]** または **[⊢]** ボタンを押します。
- 巻き戻しまたは早送りするには、**[◀◀]** または **[▶▶]** ボタンを押します。繰り返し押すと、異なる速度で巻き戻しや早送りできます。
- ビデオを停止するには、[■] ボタンを押します。

ムービーの操作

■ビデオのムービーのアイコンを選択中に、**[⊟] OPTIONS** ボタンを押してから **[OK]** ボタンを押すと、次の操作ができます。

- {**Subtitles**}:字幕設定を選択します。
- {**Shuffle**}:ビデオファイルのランダム再生を有効または無効にします。
- {**Repeat**}:{**Play once**} を選択すると、ビデオファイルを 1 度だけ再生できます。{**Repeat**} を選択するとビデオファイルを繰り返し再生できます。

■ビデオの再生中に、**[⊟] OPTIONS**ボタンを押すと上部バーが表示されます。

- {**Options**}:Optionについては、上記の説明を参照してください。なお、以下の操作も可能です。
  - {**Subtitles language**}:字幕の言語を選択します。
  - {**Status**}:ビデオの情報(サイズ、タイトル、日付など)を表示します。
- {**Picture and sound**}:**画像スタイル、音声スタイル、音声出力、画像フォーマット**の設定が出来ます。これらについては、18ページの説明を参照してください。
- {**Eco settings**}: {**画面オフ**}を選択すると、画像が消灯されます。
- {**Clock**}:{**スリープタイマー**}を設定すると、指定した時間が経過した後、本機の電源を切ります。

4.9.3. 写真ファイルを再生する

1. 上部バーの **Photo**を選択します。



2. 写真のサムネイルを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

スライドショーを再生する

フォルダに複数の写真がある場合、写真を選択します。**[▬]**(赤)を押すと、**すべて再生**されます。

- 前の写真または次の写真にを表示する場合は、**[⊢]** または **[⊢]** ボタンを押し、**[OK]** ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには、**[■]** ボタンを押します。

スライドショーの操作

■スライドショーの写真のアイコンを選択中に、**[⊟] OPTIONS** ボタンを押してから**OK]** ボタンを押すと、次の操作ができます。

- {**Shuffle**}:スライドショーの写真のランダム表示を有効または無効にします。
- {**Repeat**}:{**Play once**} を選択すると、スライドショーが 1 度だけ再生されます。{**Repeat**} を選択すると、スライドショーが繰り返し再生されます。
- {**Slideshow Time**}:スライドショーの各写真を表示する時間を選択します。
- {**Slideshow Transition**}:写真間の遷移方法を選択します。

■スライドショーの再生中に、**[⊟] OPTIONS**ボタンを押すと上部バーが表示されます。

- {**Options**}:Optionについては、上記の説明を参照してください。
- {**Picture and sound**}:**画像スタイル、音声スタイル、音声出力、画像フォーマット**の設定が出来ます。これらについては、18ページの説明を参照してください。
- {**Eco settings**}: {**画面オフ**}を選択すると、画像が消灯されます。
- {**Clock**}:スリープタイマーを設定すると、指定した時間が経過した後、本機の電源を切ります。

- **[▬]**(緑)を押すと、Date、A...Z、Mouth、Yearごとに写真ファイルを並べ替えることができます。

メモ
・写真に関する情報(タイトル、日付、サイズなど)表示するには、写真を選択して[i] INFOボタンを押します。情報を非表示にするには、もう 1 度 **[i] INFO** ボタンを押します。

4.9.4. フォルダを操作する

1. 上部バーの **Folder**を選択します。

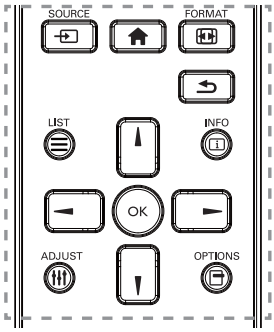


2. USBデバイス内の再生可能なファイルを全て自動検出し表示します。、**音楽**、**ムービー**、**写真**のどれか1つ選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- フォルダにある形式ごとのすべてのファイルを再生するには、ファイルを1つ選択します。**[▬]**(赤)を押すとすべて再生されます。
- **音楽**、**ムービー**、**写真**の再生操作については、本項の説明を参照してください。

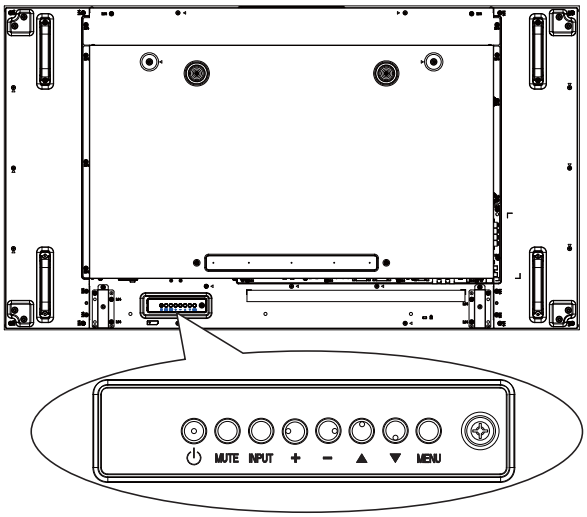
5. 設定を変更する

リモコンを使用する



1. **[⌂] ホーム**ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. **[↑] [↓] [←]** または **[→]** ボタンを押して、**画像**、**音声**、**タイル**、**一般設定**または**ネットワーク設定**を選択します。**[OK]** ボタンを押して、設定メニューを表示します。
3. **[↑] [↓] [←]** または **[→]** ボタンを押して、メニュー項目を選択したり値を設定します。**[OK]** ボタンを押して、確定します。
4. **[⮌] 戻る**ボタンを押して、前のメニュー階層に戻ります。
5. **[⌂] ホーム**ボタンを押して OSD メニューを終了します。

本機の操作ボタンを使用する

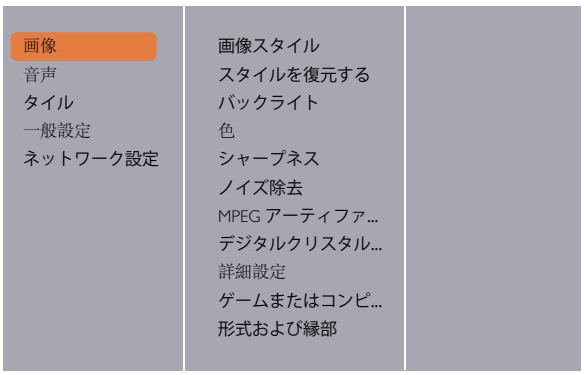


1. **[MENU]** ボタンを押して OSD メニューを表示します。

2. **[▲] [▼] [+]** または **[–]** ボタンを押して、メニュー項目を選択したり値を設定します。
3. **[INPUT]** ボタンを押してメニューの選択を確定し、サブメニューを表示します。
4. **[MENU]** ボタンを押して OSD メニューを終了します。

5.1. 設定

5.1.1. 画像設定



画像スタイル
あらかじめ用意されている画像設定から選択します。

スタイルを復元する
あらかじめ用意されている画像設定を初期値に戻します。

バックライト
一般設定のスマートパワーがオフのとき、ディスプレイのバックライトの輝度を調整できます。

色
画像の彩度を調整します。

シャープネス
画像のシャープネスを調整します。

ノイズ除去
画像のノイズリダクション量を選択します。

MPEG アーティファクト低減
デジタル画像の遷移をスムーズにし、ぼやけを抑えます。

デジタルクリスタルクリア
ピクセル単位で微調整を行い、周囲のピクセルに合わせて、鮮やかで高解像度の画像を表示します。

- {**高度なシャープネス**}:画像の線や輪郭を特にはっきりと際立たせます。
- {**ダイナミックコントラスト**}:画像の暗い部分、中間部分、明るい部分の詳細をそれぞれ動的に強調します。
- {**色強調**}:色の鮮やかさと精度を動的に調整します。

詳細設定
ガンマ、色合い、ビデオのコントラストなどの詳細設定を表示します。

- {**ガンマ**}:画像の輝度やコントラストの非線形設定を調整します。
- {**色温度**}:色のバランスを変更します。
- {**カスタム色合い**}:色のバランスの設定をカスタマイズします。{**色温度**}→ {**カスタム**}が選択されている場合にのみ設定できます。
- {**映像のコントラスト**}:映像のコントラストを調整します。
- {**明るさ**}:画面の輝度を調整します。
- {**色相**}:画面の色相を調整します。

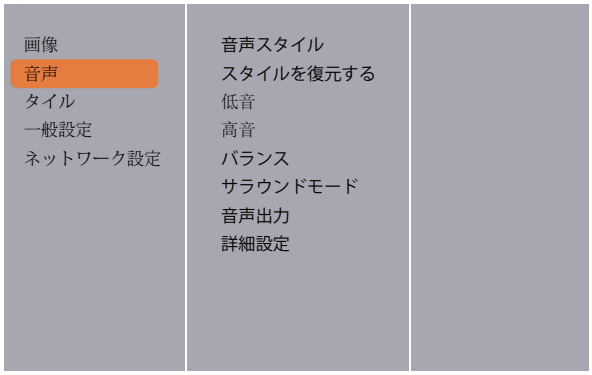
ゲームまたはコンピュータ
接続したゲーム機の内容を表示する場合、{**ゲーム**} を選択してゲーム用の設定を適用します。HDMI 経由でコンピューターを接続している場合、{**コンピュータ**}を選択します。

最高の精細度で表示されるよう、{**フォーマットとエッジ**} → {**画像フォーマット**} → {**Unscaled**} が選択されている事を確認してください。

フォーマットとエッジ

- {**画像フォーマット**}:画像形式を変更します。
- {**画像シフト**}:画像の位置を微調整します。
  これらについては、18ページの説明を参照してください。

5.1.2. 音声設定



音声スタイル
あらかじめ用意されている音声設定を表示します。

スタイルを復元する
あらかじめ用意されている音声設定を初期値に戻します。

低音
低音の増減を調整します。

高音
高音の増減を調整します。

バランス
左右の音声出力のバランスを調整します。

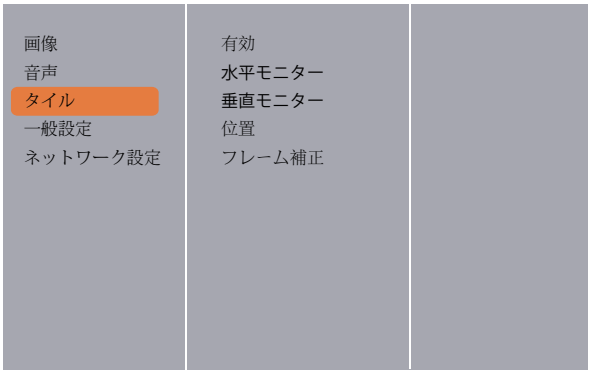
サラウンドモード
オーディオ環境を強化します。

音声出力
音声出力の音量を調整します。

詳細設定
オーディオ環境を強化するアドバンスト設定を表示します。

- {**自動音量平準化**}:急激な音量の変化を抑えられます。
- {**スピーカ設定**}:内部スピーカーのオンとオフを切り替えます。
- {**クリアな音声**}:音質を向上します。

5.1.3. タイル



この機能を使用すると、本機を最大で 100 台(**横方向に 10 列、縦方向に 10 段**)使用して、ひとつの大きな画面(ビデオウォール)を構成できます。

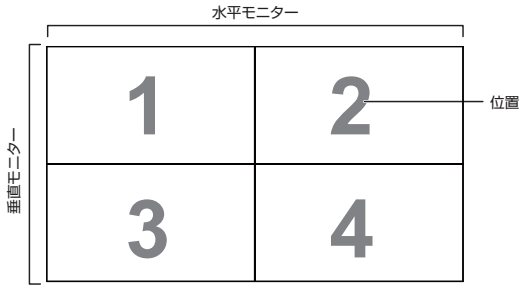
有効
タイル表示機能を {**オン**} または {**オフ**} から選択します。{**オン**} にすると、{**水平モニター**}、{**垂直モニター**}、{**位置**}、{**フレーム補正**} の設定が適用されます。

水平モニター
横方向の表示を調整します。

垂直モニター
縦方向の表示を調整します。

位置
このディスプレイの、全体の画面構成の中での位置を調整します。

《例》2×2 台構成(ディスプレイ 4 台)の場合
水平モニター = ディスプレイ 2 台
垂直モニター = ディスプレイ 2 台



《例》5×5 台構成(ディスプレイ 25 台)の場合

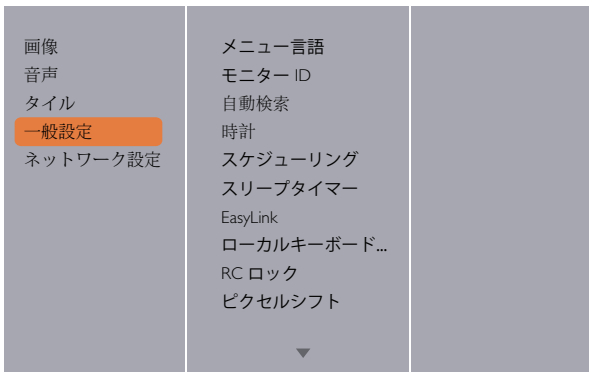
水平モニター = ディスプレイ 5 台
垂直モニター = ディスプレイ 5 台



フレーム補正

選択すると、フレームの補正機能がオンまたはオフに切り替わります。{**オン**} を選択すると、ディスプレイの画像が、ディスプレイの縁幅を補正するよう調整され、画像が正確に表示されます。

5.1.4. 一般設定



メニュー言語

OSD メニューで使用する言語を選択します。

モニター ID

RS-232C 接続経由で本機を操作する場合、リモコンIDを変更して操作するときの ID 番号を調整します。本機を複数接続して使用する場合、各ディスプレイに一意の ID 番号が割り当てられていなければなりません。モニター ID 番号の範囲は 1～255 です。デフォルトの設定は 1 です。

自動検索

本機で使用できるソースを自動的に検出して表示するようにします。{**すべて**}を選択した場合、優先順位をつけることができます。

時計

本機内部の時計の日付と時刻を設定します。

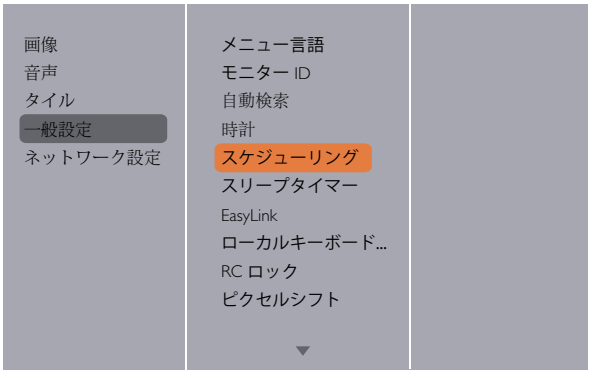
スケジューリング

この機能では、ディスプレイが点灯する時間間隔のスケジュールを最大 7 つプログラムできます。
次の設定ができます。

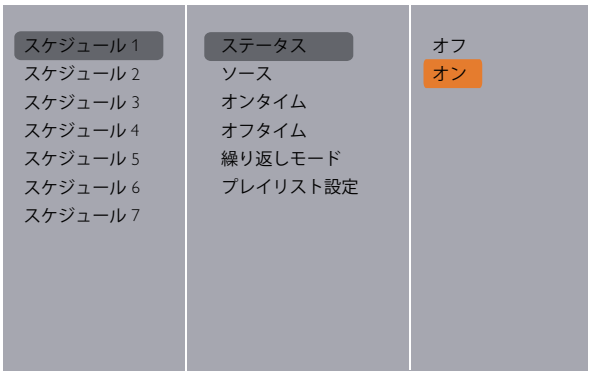
- スケジュールした点灯時間でどのソースを使用するか。
- ディスプレイの電源の入·切時間。
- ディスプレイを点灯する曜日。

メモ

- この機能を使う前に、現在の日付と時刻を{**時計**} メニューで設定してください。
- {**一般設定**} メニューで {**時計**} オプションを変更した場合、この {**スケジューリング**} 設定を再度行う必要があります。
- {**自動検索**} のステータスをオフにしてください。



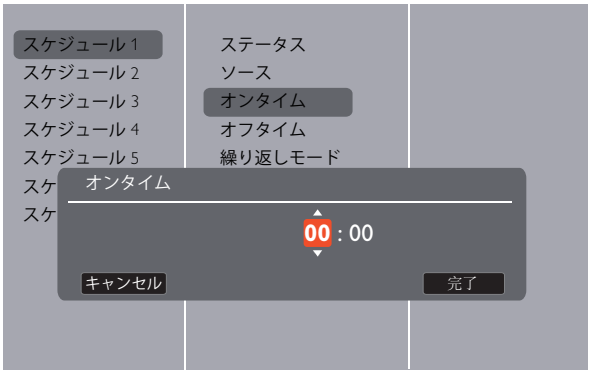
1. スケジュールは7つ設定できます。**ステータス**に移動し、{**オン**}を選択します。



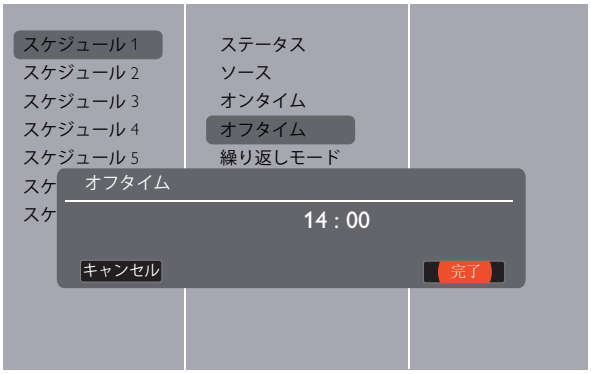
2. **ソース**に移動して入力ソースを選択します。{**ソース**} → {**USB**} が選択されている場合、プレイリストを設定する必要があります。



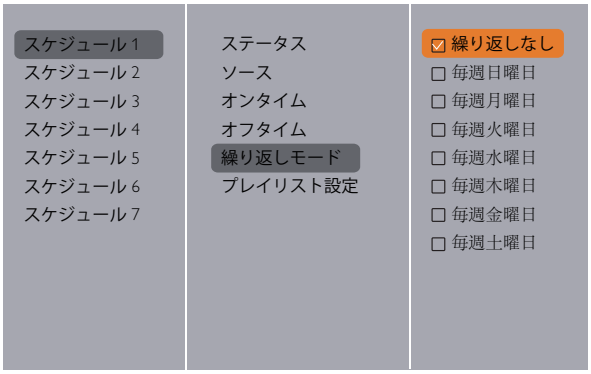
3. **オンにする時刻**を設定します。



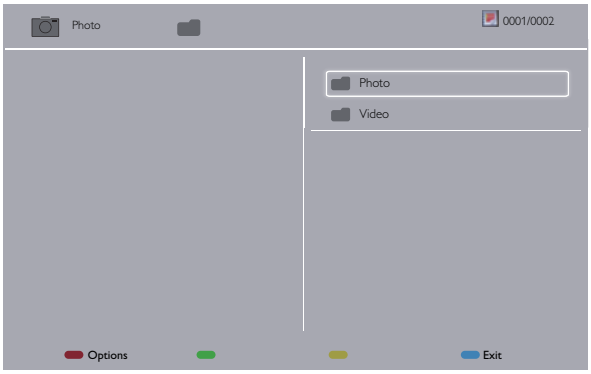
4. **オフにする時刻**を設定します。



5. **繰り返しモード**に移動して選択します。



6. {**ソース**} → {**USB**} が選択されている場合、**プレイリスト設定**に移動します。



- **[▲] [▼]** ボタンを押してファイルを選択します。
- **[◄] [►]** ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーを切り替えます。
- **[OK]** ボタンを押して、プレイリストを設定またはクリアします。

7. プレイリストを保存するには、**[▬]**（赤）を押して{**Save list**}を選択します。



メモ
- それぞれのプレイリストには 30 ファイルまで追加できます。
- プレイリストは、{**工場出荷時設定**} を行っても消去されません。手動でファイルを削除するか、USB の usb_schedulinglist.txt を削除してください。

スリープタイマー
指定した時間が経過した後、本機の電源を切ります。

EasyLink
Easy Linkをオンにすると、HDMI-CEC対応機器の電源が立ち上がります。

自動調整
この機能を使用して、VGA 入力画像の表示を自動的に最適化します。

メモ
- この項目は、**VGA** 入力でのみ機能します。

ローカルキーボードロック（操作ボタンロック）
本機の操作ボタンの動作を有効または無効にします。
- {**ロック解除**}:操作ボタンの機能を有効にします。
- {**すべてロックする**}:操作ボタンのすべての機能をロックします。
- {**音量以外をロックする**}:**[−]** および **[+]** ボタン以外の操作ボタンの機能をすべて無効にします。
- {**電源以外をロックする**}:**[⏻]** ボタン以外の操作ボタンの機能をすべて無効にします。
- {**音量と電源以外をロックする**}:**[−]**、**[+]** および **[⏻]** ボタン以外の操作ボタンの機能をすべて無効にします。

RCロック（リモコンボタンロック）
リモコンのボタンの機能を有効または無効にします。
- {**ロック解除**}:リモコンボタンの機能を有効にします。
- {**すべてロックする**}:リモコンボタンのすべての機能をロックします。
- {**音量以外をロックする**}:**[−]** および **[+]** ボタン以外のリモコンボタンの機能をすべて無効にします。
- {**電源以外をロックする**}:**[⏻] 電源**ボタン以外のリモコンボタンの機能をすべて無効にします。
- {**音量と電源以外をロックする**}:**[−]** **[+]** および **[⏻] 電源**ボタン以外のリモコンボタンの機能をすべて無効にします。

メモ
- **ローカルキーボードロック**または**RCロック**項目でロック項目を無効にするには、リモコンの **[🏠]** と **1998** ボタンを押してください。

ピクセルシフト
入力ソースがビデオの場合、{**オン**} を選択すると、本機を操作しないまま 30 秒経過後に画面の画像を自動的に動かし、ディスプレイの「焼き付き」や「残像」の症状を防ぎます。

スマートパワー
電力消費の変化や画像のコントラストが最適になるようバックライトレベルを選択できます。
次の選択肢があります。{**オフ**}、{**標準**}、{**電力最適**}、{**画像最適**}

ウェイクオンLAN
{**オン**} を選択すると、本機の電源をネットワークから入れることができます。

電源オン
次回電源コードを接続した時の本機の状態を選択します。
- {**オン**} - 電源コードをコンセントに差し込んだ時に本機の電源をオンにします。
- {**スタンバイ**} - 電源コードをコンセントに差し込んだ時に本機をスタンバイにします。
- {**最新ステータス**} - 電源を取り外し、再度接続した時に、本機を前回の電源状態（オン/オフ/スタンバイ）にします。

LED
{**オフ**} を選択すると、インジケーターがオフになります。

パワーオンディスプレイ
電源投入時の遅延時間を秒で調整し、複数のディスプレイを接続している時に ID 番号ごとに各ディスプレイの電源を順番に入れるようにします。

ロゴを表示する
{**オン**} を選択すると、本機の電源が入ったときTOSHIBAロゴを表示します。

APM

{**オン**} を選択すると、信号がない場合、本機が自動的にオフになります。

情報

[⏻] 電源ボタンを押してスタンバイモードから本機の電源を入れた場合や、入力信号が変わった場合、OSDが画面の左上隅に表示されます。

{**オフ**} を選択すると、この機能がオフになります。

DisplayPort Ver.:

DisplayPortのバージョンを 1.1a または 1.2 から選択します。

冷却ファン

{**オン**} を選択すると、常に冷却ファンが稼働します。
{**オート**} を選択すると、本機の温度に応じて冷却ファンが稼働したり停止したりします。

メモ

- {**オート**} では、温度が 60°C（140°F)に達した時に冷却ファンが稼働します。
- 温度が 70°C（158°F)に達すると、温度の警告メッセージが画面に表示されます。
- 温度が 70°C（158°F)に達し 3 分間が経過し、温度の警告メッセージが画面に 10 秒間表示された後、本機の電源は自動的に切れ、電源 LED が赤と緑に点滅します。
- {**オート**} 設定で使用することをおすすめします。

ネットワーク制御ポート

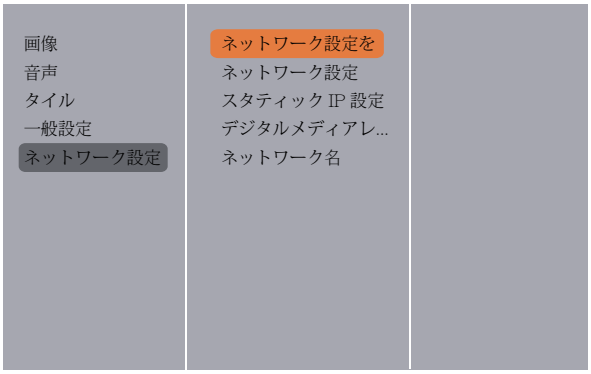
本機内蔵のRS-232CまたはOPSに搭載されるRS-232Cの選択をします。

工場出荷時の設定

カスタマイズした設定をすべて工場出荷時の設定に戻します。

5.2. ネットワーク設定

1. **[🏠] ホーム**ボタンを押して、**ネットワーク設定**を選択し、**[OK]** を押します。



ネットワーク設定を表示する

接続されているネットワークのステータスを表示します。

ネットワーク設定

{**ネットワーク設定**}：本機の、ネットワークリソースへのアドレスの割り当て方法を選択します。{**DHCP & 自動 IP**}（推奨）または {**スタティック IP**} を選択できます。

スタティック IP 設定

本機の {**IP アドレス**}、{**ネットマスク**}、{**ゲートウェイ**}、{**DNS1**}、{**DNS2**} を定義します（{**ネットワーク設定**} → {**スタティック IP**} が選択されている場合）。

デジタルメディアレンダラー - DMR

ネットワーク経由で、接続された機器からマルチメディアファイルを受信します。

ネットワーク名

複数のディスプレイを接続している場合、見分けやすいように各ディスプレイの名前を変更できます。

画面上のキーボードまたはリモコンのキーパッドを使って名前を入力します。

.

6. USB デバイスの互換性

USB ビデオ形式（ムービー）

ファイルの拡張子	コンテナー	ビデオコーデック	解像度	フレームレート（fps）	ビットレート（Mbps）	オーディオコーデック
*.avi *.mkv	AVI MKV	XviD	1920x1080	6 ～ 30	8	MP3 / AC3/ LPCM / ADPCM
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ～ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ～ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ～ 30	8	
		XviD	1920x1080	6 ～ 30	8	
*.asf	ASF	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ～ 30	25	MP3 / AC3/ LPCM / ADPCM / WMA
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ～ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ～ 30	8	
		Window Media Video v9	1920x1080	6 ～ 30	25	
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ～ 30	25	
*.wmv	ASF	MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ～ 30	8	WMA
*.mp4	MP4	XVID	1920x1080	6 ～ 30	8	MP3 / ADPCM / AAC
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ～ 30	25	
		HEMPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ～ 30	8	
*.3gp	3GPP	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	ADPCM / AAC / HE-AAC
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
*.vro	VRO VOB	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	

ファイルの拡張子	コンテナー	ビデオコーデック	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
"*.mpg *.mpeg"	PS	H.264	1920x1080	6 ～ 30	25	AC3 / MPEG / LPCM / AAC
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
		H.264	1920x1080	6 ～ 30	25	
"*.ts *.trp"	TS	VC1	1920x1080	6 ～ 30	25	AC3 / AAC / MP3 / DD+ / HE-AAC

USB 音声形式（音楽）

ファイルの拡張子	コンテナー	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Kbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	32 44.1 48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wma .asf	WMA (V2 から V9.2 まで)	32 44.1 48	192	WMA
.wma	WMA Pro	96	768	WMA、WMA Pro
.wav(PC)	LPCM	192	768	LPCM
.aif(mac)	LPCM	192	768	LPCM
.aiff(mac)				
.aac .mp4 .m4a	AAC	48	1024	AAC、HE-AAC（v1 および v2）
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-
.m4a	M4A	48	1024	AAC、HE-AAC（v1 および v2）

USB フォト形式（写真）

カテゴリー	ファイルタイプ	ファイルの拡張子	性　能
静止画 (Photo)	JPEG	.jpg/jpeg	baseline: color made = 444. size <= 32768x16128 color made = 422v.size <= 16384x16128 color made = other. not support
	BMP	.bmp	4096 x 3072_4 bit. 2730 x 2500_8bit. 2048x1536_16bit. 1500x1200_32bit
	PNG	.png	4096 x 3072_4 bit. 2730 x 2500_8bit. 2048x1536_16bit. 1500x1200_32bit
	GIF	.gif	

USB ビデオ字幕形式（ムービー字幕）

名　称	ファイルの拡張子	フォーマット
MPEG-4 time-based text	.ttxt	XML
SAMI	.smi	HTML
Sub Rip	.srt	string-based
Sub Viewer	.sub	string-based
Micto DVD	.sub or .txt	string-based

メモ

- サウンドまたはビデオは、コンテンツが、上記の表に記載されている対応フレーム/秒を超える標準ビットレート/フレームレートの場合は動作しません。
- ビットレートまたはフレームレートが上記の表に指定されているレートよりも大きいビデオコンテンツの場合、再生中に途切れることがあります。

7. 入力モード

PC信号解像度(VESA標準):

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセルレート	アスペクト比	標準モード
	水平方向ピクセル	垂直方向行数				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックスアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックスアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックスアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度:

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセルレート	アスペクト比	標準モード
	水平方向ピクセル	垂直方向行数				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変更後 NTSC 規格
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	576	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変更後 PAL 規格
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度:

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセルレート	アスペクト比	標準モード
	水平方向ピクセル	垂直方向行数				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常 DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常 ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常 ATSC モード
			60 Hz			

- PC テキスト品質は HD 1080 モード(1920×1080、60Hz)で最適です。
- PC ディスプレイの画面は、メーカー(および具体的な Windows のバージョン)によって異なる見え方になることがあります。
- PC と本機との接続に関して詳しくは、PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直方向および水平方向の周波数選択モードが存在する場合、60Hz(垂直方向)および 31.5KHz(水平方向)を選択してください。場合によっては、PC の電源を切った時(または PC の接続を取り外した時)に異常信号(ストライプなど)が画面に表示されることがあります。その場合、[**INPUT**] ボタンを押すとビデオモードになります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平方向の同期信号が RGB モードで不規則になった場合は、PC が省電力モードになっていないか、ケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。
- ディスプレイ設定の表は、IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力を基準にしています。
- DVI サポートモードは、PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。

8. 清掃とトラブルシューティング

8.1. 清掃

本機を使用する際の注意

- 手や顔、物を本機の通風孔に入れないでください。本機上部は通常、通風孔から放出される高温の排気により非常に熱くなっています。体の一部を近づけすぎると、やけどやケガの原因となります。本機上部の近くに物を置くと、その物や本機に熱による損傷が発生する可能性があります。
- 本機を移動する前に、すべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 安全上の注意に従って、清掃またはメンテナンスを行う際はどのような場合であっても、コンセントから電源プラグを抜いてください。

フロントパネルの清掃手順

- 本機のフロント部分は専用の方法で清掃してください。清潔な布または柔らかな、毛羽立ちのない布を使用して表面を拭いてください。
- 表面が汚れている場合は、中性洗剤に浸した柔らかな、毛羽立ちのない布を絞り、余分な水分を落として、ディスプレイ表面を拭き、汚れを落としてください。次に、同様の乾いた布で水分を拭き取ってください。
- パネル表面を指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。

キャビネットの清掃手順

- キャビネットが汚れた場合は、柔らかな乾いた布で拭いてください。
- キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸した毛羽立ちのない布を硬く絞り、拭いてください。別の乾いた布で表面が乾くまで拭き取ります。
- 水や洗剤が、本機の表面に付かないようにしてください。水や湿気が本体内部に入り込むと、動作不良を起こしたり、電気的障害や感電事故の原因となります。
- キャビネットを指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- キャビネットに、殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。
- ゴムまたは PVC 製の物をキャビネットの近くに長期間置かないでください。

8.2. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
画像が表示されない	1. 電源コードが接続されていない。 2. 本機背面にある主電源スイッチが入っていない。 3. 選択した入力ポートに機器が接続されていない。 4. 本機がスタンバイモードになっている。	1. 電源コードを接続してください。 2. 電源スイッチが入っていることを確認してください。 3. 対応する入力ポートに機器を接続してください。
表示される画像が乱れる、または音声にノイズが入る	周囲の電子機器や蛍光灯によるもの。	本機を別の場所に移動し、画像の乱れが軽減されているか確認してください。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが本機背面にしっかりと接続されているか確認してください。
画像が異常なパターンで歪んでいる	1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力信号の解像度がディスプレイのサポート範囲を上回っている。	1. 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 2. ディスプレイのサポート範囲を超えないように、ビデオ信号解像度を確認してください。入力モードの項で仕様を確認してください。
ディスプレイの画像が画面サイズいっぱいに表示されない	1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが間違ってアンダースキャンに設定されている。 3. 画像が画面サイズより大きい場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。	画像フォーマットを選択し、Auto zoomになっているか確認してください。
音は聞こえるが画像が表示されない	入力信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。
画像は表示されるが音声が聞こえない	1. 入力信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. **[🔇]** がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。	1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。 2. **[＋]** または **[－]** ボタンをして音量を調整してください。 3. **[🔇]** ボタンを押して、ミュートをオフにしてください。 4. 外部スピーカーを接続して、お好みの音量に調整してください。
一部の画素が光らない	ディスプレイの一部の画素が欠陥している。	このディスプレイは、極めて精密な技術で製造されていますが、一部のピクセルが表示されない場合があります。これは故障ではありません。
本機の電源を切った後も映像が表示される（ロゴ、ビデオゲーム、コンピューターの画像、4:3 の通常モードで表示された画像などの静止画）	静止画が長時間表示された。	静止画を長時間表示しないでください。LCDに永続的に残像もしくは焼き付きが残ることがあります。LCDの焼き付きは保証対象外です。

9. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ(有効領域)	54.6 V型(138.7 cm)LCD
アスペクト比	16:9
ピクセル数	1920(横)×1080(縦)
ピクセルピッチ	0.630(横)×0.630(縦)[mm]
表示可能色	約10億6000万色
輝度(標準)	500 cd/m^2(TD-X552M) 700 cd/m^2(TD-X552X)
コントラスト比(標準)	1400:1
表示角度	178 度

入出力端子:

項目		仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー	10W(左)+10W(右)[RMS]/8Ω 1 ウェイ 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz～13 KHz
音声出力	φ3.5mmステレオミニプラグ×1	0.5V [rms](通常)/2 チャネル(L+R)
音声入力	RCA×1 φ3.5mmステレオミニプラグ×1	0.5V [rms](通常)/2 チャネル(L+R)
RS-232C	φ2.5mmミニ プラグ×2	RS-232C 入力/RS-232C 出力
RJ-45	RJ-45×1(8 ピン)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI×2 (タイプ A) (18 ピン)	デジタル RGB:TMDS(ビデオ+オーディオ) 最大: ビデオ - 720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャネル(L+R) LPCM のみ対応
DVI-D 入力	DVI-D	デジタル RGB:TMDS(ビデオ)
VGA 入力	D-Sub×1(15 ピン)	アナログ RGB:0.7V [p-p](75Ω)、H/CS/V:TTL(2.2kΩ)、SOG:1V [p-p](75Ω) 最大:720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA)
DVI-I(DVI-D/VGA)出力	DVI-I ジャック×1 (29 ピン)	デジタル RGB:TMDS(ビデオ) アナログ RGB:0.7V [p-p](75Ω)、H/CS/V:TTL(2.2kΩ)、SOG:1V [p-p](75Ω) 最大:720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA)
コンポーネント入力	BNC×3	Y:1V [p-p](75Ω)、Pb:0.7V [p-p](75Ω)、Pr:0.7V [p-p](75Ω) 最大:480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
ビデオ入力	BNC×1(Component_Y と共有)	コンポジット 1V [p-p](75Ω)
DisplayPort入出力	DisplayPort×2 (20 ピン)	デジタル RGB:TMDS(ビデオ+オーディオ) 最大: ビデオ - 720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA) オーディオ - 48 KHz/2 チャネル(L+R) LPCM のみ対応

一般:

項目	仕様
電源	AC 100V、50/60Hz、3.5A
消費電力(最大)	320 W
消費電力(標準)	185 W
消費電力(スタンバイ & オフ)	<0.5 W(RS-232Cがアクティブの場合)
寸法[幅×高さ×奥行き]	1214 mm × 685 mm × 95 mm / 104 mm (取手部)
重量	29.2 Kg
総重量	43.5 Kg

環境条件:

項目		仕様
温度	動作時	縦置き : 0～35°C、横置き : 0～40°C
	保管時	-20～60°C
湿度	動作時	20～80% RH(結露しないこと)
	保管時	5～95% RH(結露しないこと)
高度	動作時	0～3,000 m
	保管/輸送時	0～9,000 m

内部スピーカー:

項目	仕様
タイプ	1 ウェイ 1 スピーカー
入力	10 W(RMS)
インピーダンス	8Ω
出力音圧	82 dB/W/M
周波数応答	160 Hz～13 KHz

TD-X55 シリーズ
TD-X552M/TD-X552X
液晶ディスプレイ

取付／取扱説明書
平成 27 年2月　初版発行
発行 : 東芝ライフスタイル株式会社
〒198-8710　東京都青梅市末広町 2-9

© 2015 TOSHIBA LIFESTYLE PRODUCTS & SERVICES CORPORATION
All rights reserved

仕様は予告なしに変更されることがあります